

平成30年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の

点検・評価報告書

笠岡市教育委員会

# 目 次

I	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について	1
II	笠岡市教育行政における事務の管理及び執行状況の点検・評価項目	3
1	教育委員会の運営状況	5
2	教育委員会が管理・執行する事務	15
3	教育行政基本方針・基本施策	17
	(1) 自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進	17
	基本施策	
	○ 自立した子どもの育成	17
	○ 豊かな心と健やかな体をもつ子どもの育成	22
	○ 安心して学習できる教育環境づくり	26
	○ 人権教育の推進	30
	○ 学校施設等の整備	32
	(2) 心豊かな生きがいを育む生涯学習の推進	35
	基本施策	
	○ 生涯学習による人づくりまちづくり	35
	○ 青少年の健全育成	41
	○ 人権教育・啓発の推進	47
	(3) 創造性を育む文化の振興と文化財の保護・活用	49
	基本施策	
	○ 芸術文化活動の普及・振興	49
	○ 文化財の保護・保存と継承	53
	(4) 豊かな生涯スポーツの推進と競技レベルの向上	55
	基本施策	
	○ 生涯スポーツの推進	55
	○ スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実と活用	59
	○ 競技スポーツの推進	60
III	評価委員の総合評価	65
IV	資料	72

# I 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について

## 1 目的

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(以下「地教行法」という。)第26条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育委員会が点検・評価し、その結果を議会に報告するとともに市民に公表することが義務づけられています。

この点検・評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たしていくことを目的としています。

## 2 点検・評価の対象及び方法等

### (1) 対象

- ① 教育委員会が管理・執行する事務
- ② 第7次笠岡市総合計画実施計画(平成30～令和7年度)に掲げた「学校教育の充実」、「生涯学習の推進」、「スポーツの振興」及び「歴史の継承・文化の振興・カブトガニの保護と活用」の取組のうち主なもの
- ③ 教育委員会における主要施策の事務・事業のうち主なもの

### (2) 方法

平成30年度における達成状況の把握を参考としながら、その取組状況について点検・評価を実施します。

#### ① 点検・評価項目

教育行政における教育委員会の活動状況、管理執行する事務及び教育振興基本計画に掲げた主要施策を記載

#### ② 目標

点検・評価項目が目指す目標、その必要性や意図・ねらいなどを記載

#### ③ 事業概要

点検・評価項目の事務事業及び施策について、その概要を記載

#### ④ 取組状況

点検・評価項目の事務事業及び施策について、目標を達成するための具体的な取組状況を記載

#### ⑤ 成果

実施した事務事業及び施策の成果について、具体的に記載

#### ⑥ 課題・方向性

今後の課題・改善点及び方向性等について記載

#### ⑦ 自己評価

目標に対する達成度や効果等について、評価を記載

<評価指標>

- A：予定どおり目標が達成された。
- B：概ね達成された。
- C：やや目標に達成できなかった。
- D：達成できなかった。努力を要する。

(3) 学識経験者による知見の活用

点検・評価に当たっては、地教行法第26条第2項の規定により教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされたため、笠岡市教育委員会評価委員から意見を聴取しました。

< 笠岡市教育委員会評価委員 >

丹 生 裕 一	就実大学教育学部長
大 島 英 久	元笠岡市立中学校長
廣 井 滋 季	元笠岡市教育委員

(4) 報 告

当年度分の報告を議会（総務文教委員会協議会）で行います。

(5) 公 表

ホームページ及び教育委員会事務局等での閲覧ができます。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## Ⅱ 笠岡市教育行政における事務の管理及び執行状況の点検・評価項目

### 1 教育委員会の運営状況

- (1) 教育委員会の会議の運営  
教育委員会定例会及び臨時会の開催
- (2) 教育委員会の活動  
総合教育会議への出席
- (3) 教育委員の研修等  
研修会，その他各種行事・会議への出席
- (4) 学校及び教育施設への支援  
教育委員による学校・教育施設訪問  
教育委員と教職員の懇談会  
教育委員による学校給食訪問

### 2 教育委員会が管理・執行する事務

- (1) 教育行政の運営に関する基本方針  
「笠岡市教育振興基本計画」を策定
- (2) 規則等の改廃  
規則，要綱，規程等の制定・改正等
- (3) 議会の議決を経るべき議案  
条例等の議案を審議
- (4) 教育関係予算  
教育行政に関する予算を審議
- (5) 教育委員会の所管に属する学校，その他の教育機関の設置又は廃止  
設置又は廃止を審議
- (6) 職員の任免に関すること  
教育委員会事務局職員の人事異動，小・中学校長等の人事異動の内申について審議
- (7) 教科用図書の採択の決定に関すること  
教科用図書の採択
- (8) 法令等で定められた諮問機関の委員の委嘱  
諮問機関の委員の委嘱
- (9) 市重要文化財の指定及び解除  
市重要文化財の指定及び解除を審議
- (10) 教育委員会の点検評価報告書の作成  
教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価を実施し，報告書の作成，議会へ報告，公表

### 3 教育行政施策体系

基本理念	基本方針	基本施策	個別施策
学ぶ楽しさ 輝く個性 生き抜く力	自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進	1 自立した子どもの育成	(1) 確かな学力を身に付けるための教育内容・方法の充実
			(2) 幼児教育の充実
			(3) 特別支援教育の充実
			(4) 時代に即した学校教育の推進
		2 豊かな心と健やかな体をもつ子どもの育成	(1) 豊かな人間性を育む教育の充実
			(2) 健康教育の充実と食育の推進
			(3) 学校体育・スポーツ活動の充実
		3 安心して学習できる教育環境づくり	(1) 開かれた学校づくりの推進と学校教育体制の整備
			(2) 教職員の資質・能力の向上と研修体制の確立
			(3) 安全教育・防災教育の推進
			(4) 教育相談・支援体制の充実
		4 人権教育の推進	(1) 教育・啓発活動の推進
			(2) 教職員の研修の充実
			(1) 学校施設の耐震化事業の推進
		5 学校施設等の整備	(2) 学校施設の空調設備設置の推進
	(3) 校舎等施設の整備と安全確保の推進		
	6 生涯学習による人づくりまちづくり		(1) 生涯学習の推進
		(2) 社会教育関係団体の育成	
		(3) 公民館活動の推進	
	心豊かな生きがいを育む生涯学習の推進	7 青少年の健全育成	(1) 家庭教育の充実
			(2) 家庭・学校・地域社会の連携強化
(3) 青少年団体の育成			
(4) 非行防止活動			
8 人権教育・啓発の推進	(1) 教育・啓発活動の推進		
	(2) 人権教育推進組織の活性化		
	(3) 指導者の養成		
創造性を育む文化の振興と文化財の保護・活用	9 芸術文化活動の普及・振興	(1) 芸術文化活動の振興及び交流	
		(2) 文化施設及び文化環境の整備	
		(3) 笠岡市文化・スポーツ振興財団との連携	
10 文化財の保護・保存と継承	(1) 文化財の調査研究と啓発・活用		
	(2) 文化財資料の収集・整理		
豊かな生涯スポーツの推進と競技レベルの向上	11 生涯スポーツの推進	(1) 各種スポーツ教室・大会の開催，地域スポーツ団体の支援・育成	
		(2) スポーツ推進委員活動の充実	
		(3) スポーツ情報の提供	
	12 スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実と活用	(1) 施設整備及び充実	
		(2) 利用しやすい環境の整備	
	13 競技スポーツの推進	(1) 各種スポーツ大会の開催(主催)	
		(2) 競技会等の支援	
		(3) スポーツ指導者の養成，トレーナースタッフの確保	
		(4) 優秀選手の表彰	
		(5) 笠岡市文化・スポーツ振興財団，笠岡市体育協会等との連携	

## 1 教育委員会の運営状況

教育長

(H31. 3. 31 現在)

職 名	氏 名	就任年月日	任 期
教 育 長	岡 田 達 也	H29. 8. 1	H30. 4. 1～R 3. 3. 31

教育委員

(H31. 3. 31 現在)

職 名	氏 名	就任年月日	任 期
教育長職務代理者	三 谷 信 恵	H20.10. 1	H28.10. 1～R 2. 9. 30
委 員	石 井 啓 弐	H27.12.11	H27.12.11～R 1.12.10
委 員	藤 谷 幸 弘	H28.12.17	H28.12.17～R 2.12.16
委 員	山 下 敬 広	H29.10. 4	H29.10. 4～R 3.10. 3

### (1) 教育委員会の会議の運営

教育委員会定例会 12回(前年12回)

教育委員会臨時会 2回(前年3回)

月 日	定例会又は臨時会	議 案	報 告	協議報告・その他
4月26日	定例会	4	1	9
5月24日	定例会	4		5
6月21日	定例会	3	1	7
7月23日	定例会	4	1	9
7月30日	臨時会			1
8月16日	定例会	1	1	3
9月20日	定例会	1		7
10月18日	定例会			13
11月26日	定例会	2		11
12月21日	定例会			8
1月24日	定例会	1		15
2月21日	定例会	1		7
3月14日	臨時会	4		
3月20日	定例会	3	1	4
計	14回	28	5	99

会議については、定例会を毎月1回、年12回開催、臨時会は、必要に応じて2回開催し、計14回開催した。

会議の開催に際しては、議案資料の内容を事前に確認し、会の円滑な進行に努めた。

会議の公開等、開かれた委員会として保護者や地域住民に情報発信し、地域に求められる

活動を進めている。なお、定例会での協議のほかに教育長を含む教育委員全員で、今日的・緊急的課題について、非公式協議や意見交換を随時行っている。

① 教育委員会議案・報告案件

月 日	議 案 ・ 報 告 案 件
4月26日	① 笠岡市教育大綱（案）について ② 地区公民館運営審議会委員の委嘱について ③ 笠岡市スポーツ推進委員の委嘱について ④ 感謝状の贈呈について ⑤ 教育長の専決処分した地区公民館主事の任命について
5月24日	① 地区公民館運営審議会委員の委嘱について ② 笠岡市文化財保護委員の委嘱について ③ 笠岡市社会教育委員の委嘱について ④ 地区公民館運営審議会委員の委嘱について
6月21日	① 笠岡市図書館協議会委員の委嘱について ② 笠岡市竹喬美術館協議会委員の委嘱について ③ 笠岡市スポーツ推進審議会委員の委嘱について ④ 教育長の専決処分した笠岡市立カブトガニ博物館運営委員会委員の委嘱について
7月23日	① 笠岡市立幼稚園一時預かり事業実施要綱の一部を改正する要綱について ② 笠岡市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について ③ 平成31年度使用教科用図書（中学校道徳）の採択について ④ 笠岡市図書館協議会委員の委嘱について ⑤ 教育長の専決処分した感謝状の贈呈について
8月16日	① 笠岡市中中学生学力向上に向けた検定チャレンジ受検料補助金交付要綱の制定について ② 教育長の専決処分した感謝状の贈呈について
9月20日	① 感謝状の贈呈について
11月26日	① 平成30年度末校長・教員等人事異動内申方針について ② 笠岡市学校給食センター見学及び調理教室の使用に関する要綱の制定について
1月24日	① 公民館運営審議会委員の委嘱について
2月21日	① 笠岡市社会教育委員の委嘱について
3月14日	① 小・中学校長等の人事異動の内申について



	<ul style="list-style-type: none"> <li>② 幼稚園長等の人事異動について</li> <li>③ 感謝状の贈呈について</li> <li>④ 教育委員会事務局職員の人事異動について</li> </ul>
3月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 笠岡市文化財保護事業補助金交付要綱の制定について</li> <li>② 公民館長・主事の任命及び公民館運営審議会委員の委嘱について</li> <li>③ 感謝状の贈呈について</li> <li>④ 教育長の専決処分した感謝状の贈呈について</li> </ul>

## ② 教育委員会協議報告・その他事項

月 日	協 議 報 告 事 項
4月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 平成30年度校長・教頭・養護・事務一覧について</li> <li>② 平成30年度幼小中在籍数について</li> <li>③ 平成30年度笠岡市教育委員会・笠岡市教育研修所等研究指定校園について</li> <li>④ 笠岡市教育審議会について</li> <li>⑤ 第3回CMコンテストについて</li> <li>⑥ カブトガニ繁殖地保護啓発運動の概要について</li> <li>⑦ 2020東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致に係る訪問結果について</li> <li>⑧ スクールバスの運行について</li> <li>⑨ 新給食センターの状況について</li> </ul>
5月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 笠岡市教育大綱（案）について</li> <li>② 平成30年度笠岡市一般会計5月及び6月補正予算（教育関係）の内示について</li> <li>③ 笠岡市木山捷平文学選奨の作品募集について</li> <li>④ 日本遺産認定申請の結果について</li> <li>⑤ 幼保一体化について</li> </ul>
6月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 平成30年6月笠岡市議会定例会質問・回答について</li> <li>② 学校教育課による学校訪問について</li> <li>③ 笠岡市学校教育充実アドバイザーについて</li> <li>④ 第4回笠岡市教育審議会について</li> <li>⑤ 笠岡市立図書館の休館日について</li> <li>⑥ 学校等教育施設訪問について</li> <li>⑦ 成人式について</li> </ul>
7月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 豪雨災害による学校施設等の被害状況について</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>② 豪雨災害による幼稚園保育料の減免措置について</li> <li>③ 平成30年度岡山県学力学習状況調査について</li> <li>④ 台風等警報発令時における対応（改訂通知）について</li> <li>⑤ 「8月4日開催図書館まつり」について</li> <li>⑥ 「絵本岡山のむかしばなし」原画展について</li> <li>⑦ カブトガニ博物館特別展示「石になった魚たち」について</li> <li>⑧ 学校等教育施設訪問結果について</li> <li>⑨ サマーチャレンジについて</li> </ul>
7月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 平成30年度使用教科用図書（中学校道徳）の決定について</li> </ul>
8月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 平成30年度笠岡市一般会計9月補正予算（教育関係）について</li> <li>② 平成30年度全国学力学習状況調査について</li> <li>③ 教育審議会について</li> </ul>
9月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 9月定例会市議会（代表・個人）質問について</li> <li>② 平成30年度一般会計9補正（第6号）予算（教育関係）について</li> <li>③ 平成30年度「いきいきオープンスクール」について</li> <li>④ 平成30年度「いきいきチャレンジ体験」について</li> <li>⑤ 笠岡市就学前教育・保育施設再編整備計画について</li> <li>⑥ 歴史文化基本構想講演会「歴史文化を活かした特色あるまちづくりを目指して」について</li> <li>⑦ 木山捷平没後五十周年記念リレー講演会「今、あらためて木山捷平を語る」について</li> </ul>
10月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 「笠岡市就学前教育・保育施設再編計画（素案）」説明会等について</li> <li>② 第6回笠岡市教育審議会の開催について</li> <li>③ 平成30年度市内小・中学校「いきいきオープンスクール」の開催日時について</li> <li>④ 木山捷平生家の受贈について</li> <li>⑤ 第14回笠岡市青少年スピーチコンテストについて</li> <li>⑥ 第41回笠岡市青少年健全育成大会について</li> <li>⑦ 第66回笠岡市文化祭・第41回笠岡市芸能祭・第43回笠岡市菊花展について</li> <li>⑧ 第23回森田思軒顕彰講演会について</li> <li>⑨ 特別展「創立100周年記念－国画創作協会の全貌」展について</li> <li>⑩ 特別展「幽玄なる世界－吉野石膏日本画コレクション－」について</li> <li>⑪ 平成29年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書（案）について</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑫ 第13回べいふぁーむ駅伝大会について</li> <li>⑬ 第32回カプトガニ駅伝大会について</li> </ul>
11月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 平成30年度岡山市町村教育委員会連絡協議会研修会参加報告について</li> <li>② 平成30年度笠岡市一般会計12月補正予算（教育関係）の内示について</li> <li>③ 平成30年度いきいきオープンスクール参加者数等結果概要について</li> <li>④ 平成29年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」について</li> <li>⑤ 島しょ部入学特別制度「わくわくシーサイドスクール」について</li> <li>⑥ 笠岡市教育審議会について</li> <li>⑦ 学校規模適正化計画説明会の開催状況について</li> <li>⑧ 第14回笠岡市木山捷平文学選奨作品募集結果について</li> <li>⑨ 笠岡市歴史文化基本構想の策定について</li> <li>⑩ 社会教育主事資格取得の報告について</li> <li>⑪ 第22回べいふぁーむ笠岡マラソン大会参加者募集について</li> </ul>
12月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 12月定例市議会（個人）質問について</li> <li>② 笠岡市教育審議会答申について</li> <li>③ 笠岡市立小・中学校の学校規模適正化計画について</li> <li>④ 藤井育英会の理事及び監事の推薦について</li> <li>⑤ 平成30年度笠岡市成人式の開催について</li> <li>⑥ 特別展「幸野楳嶺が伝えたこと」について</li> <li>⑦ 日本遺産の取組について</li> <li>⑧ 12月補正予算について</li> </ul>
1月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 平成30年度卒業式及び平成31年度始業式等の日程について</li> <li>② 平成31年度幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒数の見込みについて</li> <li>③ 平成30年度笠岡市学校給食展について</li> <li>④ 第32回笠岡市人権文化祭について</li> <li>⑤ 平成30年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果について</li> <li>⑥ 平成30年度笠岡市成人式の開催結果について</li> <li>⑦ 第30回笠岡市生涯学習フェスティバルについて</li> <li>⑧ 日本遺産申請について</li> <li>⑨ 笠岡市歴史文化基本構想について</li> <li>⑩ 木山捷平生家について</li> <li>⑪ 特別陳列「きみはエビ派？カニ派？ エビ・カニ」展について</li> </ul>

	⑫ 第22回べいふぁーむ笠岡マラソン大会について ⑬ 学校等教育施設訪問について ⑭ 笠岡市就学前教育・保育施設再編整備計画（素案）のパブリックコメント回答について ⑮ 笠岡市歴史文化基本構想シンポジウム「歴史を活かしたまちづくり」について
2月21日	① 平成31年度笠岡市一般会計当初予算（教育関係）の内示について ② 平成30年度笠岡市一般会計3月補正予算（教育関係）について ③ 笠岡市立小・中学校卒業式の祝辞について ④ 第30回笠岡市生涯学習フェスティバルの結果について ⑤ 第22回べいふぁーむ笠岡マラソン大会結果について ⑥ 特別陳列「蠢動 竹喬のまなざし」展について ⑦ 平成30年度給食費について
3月20日	① 平成31年3月笠岡市議会定例会質問・回答について ② 「井戸平左衛門賞」副賞に係る大田市1泊2日の交流事業について ③ 笠岡市スポーツ振興基本計画について ④ 平成29年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について

## （2）教育委員会の活動

### ＜市長との意見交換＞

総合教育会議において、幼保一体化、笠岡市教育大綱の見直し、旧学校給食センター及び旧大島東小学校の跡地利用、教育関係予算及び小中一貫教育などについて市長と教育委員との意見交換を行った。

月 日	場 所	内 容
7月23日	市 長 室	幼保一体化、笠岡市教育大綱の見直し、旧学校給食センター及び旧大島東小学校の解体工事
11月26日	市 長 室	幼保再編計画見直し(案)、平成31年度当初予算(教育関係)、旧学校給食センター及び旧大島東小学校の解体工事、50メートルプール
3月20日	市 長 室	幼保再編計画(修正案)、小中一貫教育の今後のスケジュール、旧学校給食センター及び旧大島東小学校のその後

<市議会への出席>

5月臨時会	2日間
6月定例会	6日間
9月定例会	7日間
12月定例会	6日間
12月臨時会	1日間
2月臨時会	1日間
3月定例会	7日間
総務文教委員会	毎月1回

(3) 教育委員の研修等

岡山県市町村教育委員会連絡協議会，岡山県都市教育委員会教育長協議会等の総会，研修会へ参加し，直面している課題や今後の取組について研修した。

月 日	会議・研修会等	場 所
4月25日	平成30年度教育問題懇談会	岡山県総合教育センター
5月 2日	岡山県都市教育委員会教育長協議会第1回定例会	美作市作東総合支所
5月 7日	平成30年度市町村教育委員会教育長等人権教育連絡会	岡山県総合教育センター
10月16日	県教育長と市町村教育長との意見交換会	岡山県庁3階大会議室
10月29日	平成30年10月期教育長連絡会議	ピュアリティまきび
11月 6日	岡山県市町村教育委員会研修会	ライフパーク倉敷
11月 9日	岡山県都市教育委員会教育長協議会第2回定例会	真庭市立中央図書館
11月22日	平成30年度市町村教育委員会研究協議会	大阪市中央公会堂
1月30日	岡山県都市教育委員会教育長協議会第3回定例会	浅口市健康福祉センター

○その他各種行事・会議への出席等

月 日	行 事 等	場 所
4月 2日	辞令交付式	笠岡市中央公民館ほか
4月 5日	春の交通安全市民運動推進大会	笠岡市保健センター
4月 9日	笠岡市給食センター開所式	笠岡市給食センター
4月20日	校園長会	教育委員会会議室

4月26日	笠岡市公民館協議会総会	笠岡市中央公民館
4月28日	カブトガニ保護啓発運動	大殿洲海岸ほか
4月29日	第37回笠岡子どもフェスティバル	笠岡総合スポーツ公園
5月3日	第20回少年野球フェスティバル	笠岡総合スポーツ公園
5月11日	教頭会	教育委員会会議室
5月12日	笠岡市PTA連合会評議員会	笠岡市貫閲講堂
5月13日	笠岡市体育協会総会及び表彰式	笠岡市保健センター
5月24日	スポーツ少年団指導者協議会総会	笠岡総合体育館
5月25日	(公財)坂本音一育英会・藤井育英会第1回理事会	教育委員会会議室
5月30日	子ども・子育て推進会議	笠岡市役所
6月1日	(公財)笠岡市文化・スポーツ振興財団第1回理事会	教育委員会会議室
6月2日	愛の善意銀行善意賞贈呈式	サンライフ笠岡
6月5日	第1回笠岡・井原地区教科用図書採択市町(組合)教育委員会協議会	井原市役所
6月9日	戦没者追悼式	笠岡市民会館
6月16日	笠岡市手をつなぐ親の会総会及び作品展	笠岡市民会館
6月19日	(公財)笠岡市文化・スポーツ振興財団評議員会	笠岡市役所
6月22日	(公財)坂本音一育英会議評議員会	笠岡市役所
7月2日	笠岡市青少年問題育成協議会	教育委員会会議室
7月3日	笠岡警察署協議会	笠岡警察署
7月6日	笠岡市青少年健全育成連絡協議会総会	笠岡市役所
7月11日	交通安全対策協議会	笠岡市民活動支援センター
7月13日	第2回笠岡・井原地区教科用図書採択市町(組合)教育委員会協議会	やかげ文化センター
7月20日	固城郡訪問団交流会	金浦中学校
7月26日	第3回笠岡・井原地区教科用図書採択市町(組合)教育委員会協議会	笠岡市役所
8月9日	笠岡市青少年健全育成連絡協議会総会	笠岡市役所
8月17日	笠岡市PTA連合会平成31年度予算要望	市長室
8月18日	第63回笠岡市青少年柔剣道大会	笠岡総合体育館
8月24日	生涯学習推進懇話会	笠岡市役所
〃	校園長会平成31年度予算要望	市長室
9月5日	JR笠岡駅南北連絡施設等整備検討委員会	笠岡市役所

9月22日	交通安全市民運動推進大会	笠岡市民会館
〃	交通安全フェスティバル	笠岡自動車学校
9月26日	第29回笠岡市生涯学習フェスティバル第1回実行委員会	教育委員会会議室
9月28日	笠岡警察署協議会	笠岡警察署
9月30日	歴史文化基本構想講演会	笠岡市民会館
10月22日	教頭会	教育委員会会議室
10月28日	笠岡市立図書館川柳コンテスト表彰式	笠岡市立図書館
10月29日 ～11月5日	笠岡市内小・中学校オープンスクール参観	笠岡市内小・中学校
10月31日	子ども・子育て推進会議	笠岡市保健センター
11月 1日	ワコー文化賞表彰式	笠岡グランドホテル
11月 3日	笠岡市文化の日記念表彰式	笠岡グランドホテル
11月 8日	善行少年表彰式	笠岡警察署
〃	校園長会	教育委員会会議室
11月10日	笠岡市PTA連合会児童生徒音楽発表会	笠岡市民会館
〃	森田思軒顕彰講演会	笠岡市立図書館多目的室
11月11日	第14回笠岡市青少年スピーチコンテスト	笠岡市中央公民館
11月23日	第41回笠岡市青少年健全育成推進大会	笠岡市中央公民館
11月26日	JR笠岡駅南北連絡施設等整備検討委員会	笠岡市役所
11月30日	第2回笠岡市生涯学習フェスティバル実行委員会	教育委員会会議室
12月 7日	校園長会	教育委員会会議室
12月 8日	CMコンテスト	笠岡市民会館
12月16日	第32回カブトガニ駅伝大会	太陽の広場
12月21日	竹喬美術館審議会	笠岡市民会館
12月26日	第2回笠岡市立地適正化計画策定委員会	笠岡市役所
1月13日	成人式	
1月20日	たこあげ大会2019	笠岡総合スポーツ公園
〃	小中一貫教育の推進における答申書説明会	笠岡市保健センター
1月21日	校長会	教育委員会会議室
1月28日	JR笠岡駅南北連絡施設等整備検討委員会	笠岡市役所
2月 3日	第22回べいふあーむ笠岡マラソン大会	笠岡陸上競技場ほか
2月 5日	笠岡警察署協議会	笠岡警察署
2月10日	第30回笠岡市生涯学習フェスティバル	笠岡市民会館
2月15日	第32回笠岡市人権・部落解放文化祭	吉田文化会館・吉田小学校

～17日		
2月17日	第41回笠岡市美術展表彰式	笠岡市民会館
2月18日	(公財)笠岡市文化・スポーツ振興財団第2回理事会	教育委員会会議室
2月20日	藤井育英会第2回理事会	教育委員会会議室
2月22日	校園長会	教育委員会会議室
2月23日	市長と語る会(笠岡市PTA連合会)	笠岡小学校
2月26日	交通安全対策協議会	笠岡市市民活動センター
〃	笠岡青少年問題協議会	笠岡市役所
〃	井戸平左衛門賞表彰式	笠岡市役所
3月1日	高校卒業式	市内高校
3月3日	第14回笠岡市木山捷平文学選奨表彰式	笠岡市保健センター
3月5日	日本共産党笠岡市委員会との懇談会	笠岡市役所
3月13日	中学校卒業式	市内中学校
3月15日	(公財)笠岡市文化・スポーツ振興財団第2回評議員会	教育委員会会議室
3月16日	幼稚園卒園式	市内幼稚園
3月19日	(公財)坂本音一育英会第2回評議員会	教育委員会会議室
3月20日	小学校卒業式	市内小学校
3月28日	平成30年度笠岡市民会館運営委員会	笠岡市民会館
3月29日	退職辞令交付式	笠岡市中央公民館ほか

#### (4) 学校及び教育施設への支援

##### ○教育委員による学校・教育施設訪問

幼稚園1園、小学校6校、中学校2校、公民館等教育施設4施設を訪問した。

(前年度 幼稚園3園、小学校6校、中学校3校、教育施設6施設)

月 日	学 校 等	教育施設等
7月5日	神内小学校, 今井小学校, 新山小学校, 大井小学校, 金浦小学校	竹喬美術館, 郷土館
2月15日	横江幼稚園, 六島小学校, 北木中学校, 神外中学校	飛島公民館, 北木研修所

各学校(園)における教育目標, 研究主題, 指導の重点を確認し, 授業・部活動状況, 施設整備状況, 地域との連携, 幼・小・中学校の連携等の実情を視察, 現在抱える課題について意見交換した。教育施設についても, 活動状況や運営状況及び施設整備状況を視察し, 今後の課題について懇談した。また, 学校開放の時期等を活用して随時, 授業参観を行ったり, 研究指定校の公開授業を参観して課題の把握に努めている。



### ○教育委員による学校給食訪問

学校訪問に併せ、食育の推進・地産地消の推進を行っている学校給食センター（共同調理場）及び島しょ部校（単独調理場）の学校給食を試食した。

月 日	学 校 等	調理施設
7月 5日	笠岡市新山小学校	学校給食センター
2月15日	笠岡市立六島小学校	六島小学校

## 2 教育委員会が管理・執行する事務

### (1) 教育行政の運営に関する基本方針

平成27年度に「笠岡市教育振興基本計画」を策定し、“人間尊重を基調に、生きる力を身につけた心豊かな人づくり”の基本理念の基、「自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進」5施策、「心豊かな生きがいを育む生涯学習の推進」3施策、「創造性を育む文化の振興と文化財の保護・活用」2施策、「豊かな生涯スポーツの推進と競技レベルの向上」3施策の各教育行政基本施策を定めた。

### (2) 規則等の改廃

要綱の制定・改正を行った。

- ①笠岡市立幼稚園一時預かり事業実施要綱の一部を改正する要綱について
- ②笠岡市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について
- ③笠岡市中学生学力向上に向けた検定チャレンジ受検料補助金交付要綱の制定について
- ④笠岡市学校給食センター見学及び調理教室の使用に関する要綱の制定について
- ⑤笠岡市文化財保護事業補助金交付要綱の制定について

### (3) 教育関係予算

教育行政に関する平成31年度当初及び平成30年度補正予算を審議した。

### (4) 教育委員会の所管に属する学校、その他の教育機関の設置又は廃止

設置又は廃止はなかった。

### (5) 職員の任免に関すること

教育委員会事務局職員の人事異動、小・中学校長等の人事異動の内申、幼稚園長の人事異動、地区公民館長の任命について審議した。

(6) 教科用図書の採択の決定に関すること

小学校全科目，中学校道徳

(7) 法令等で定められた諮問機関の委員の委嘱

地区公民館運営審議会委員，笠岡市学校給食センター運営委員会委員，笠岡市社会教育委員，笠岡市図書館協議会委員，笠岡市立カブトガニ博物館運営委員会委員，公民館運営審議会委員を委嘱した。

(8) 市重要文化財の指定及び解除

指定及び解除はなかった。

(9) 教育委員会の点検評価報告書の作成

平成29年度の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価を実施し，報告書の作成を行った。

## 自己評価 A

総合教育会議の開催を通して，「笠岡市就学前教育・保育施設の再編整備計画」の方向性・進め方について協議し，令和6年度までに市内の公立幼稚園・保育所を現在の18施設から9施設に再編整備する最終案を作成した。また，旧学校給食センターの跡地利用については，小学校の一角にあることを踏まえ，種々のリスクを考慮した上で十分に検討してもらったこととした。

教育の行政需要については，それぞれの地域や学校の規模に，かなり違いがあるため，それぞれの教育課題を的確に把握し，政策や予算に反映できるよう教育行政の充実に努めた。

### 3 教育行政基本方針・基本施策

#### 《 自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進 》

点検・評価項目	自立した子どもの育成
担当課	学校教育課

**目 標** 生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得し、自ら学び、主体的に行動できる資質や能力の育成を図る。

#### 事 務 事 業

##### 1 確かな学力を身に付けるための教育内容・方法の充実

**事業概要** 小・中学校を訪問し、確かな学力の獲得に向けた授業改善等について、授業の研修を通して取組の支援・助言を行う。また、補充学習や家庭学習の取り組みを通して、学習習慣の定着を図る。

**取組状況** (1) 平成 30 年度岡山県学力・学習状況調査結果を踏まえた取組の明確化及び中学校ブロックごとの協議（実施：小学校 3～5 年中学校 1, 2 学年）

【平成 30 年度岡山県学力状況調査中学校 1 年の結果（小北中除く）】

( ) 内は 29 年度，下線は正答率が県より上

平均正答率(%)	全体		基礎		活用	
	笠岡	県	笠岡	県	笠岡	県
国語	61.7 (73.5)	62.3 (73.3)	64.1 (74.3)	65.1 (68.6)	<u>54.3</u> (70.4)	52.8 (71.1)
数学 (算数)	71.1 (69.9)	72.4 (67.4)	73.2 (72.8)	74.1 (69.8)	63.0 (58.0)	65.8 (57.8)

【平成 30 年度岡山県学習状況調査結果 「肯定的」回答（小北中除く）】

学習状況に係る質問項目	笠岡	県
学校の授業時間以外で月～金曜日 1 日どれくらい勉強しているか（1 時間以上 2 時間より少ない）	45.0 (46.5)	47.1 (45.8)
自分で計画を立てて勉強している	59.1 (67.4)	66.2 (70.6)

##### (2) 課題に応じた学校訪問

各校の課題を把握し、それに基づき意図的かつ計画的に全学校園に訪問し、課題に対する具体的な指導・助言を行った。

##### (3) 理科観察実験アシスタント 3 名配置

・笠岡小，中央小，金浦小，大井小，神内小，大島小，城見小，

吉田小，北川小

(4) 補充学習の充実

- ・かさおかホリデーチャレンジ学習支援事業（全小学校：164(H30:184)名参加）
- ・放課後学習サポート支援事業（16 小学校：356(H30:386)名参加，7 中学校：186（H30：276）名参加）
- ・かさおかサマーチャレンジ学習支援事業（中学校：11（H30:38）名参加）

(5) 授業改善・学力向上のための指導用デジタル教科書等の整備

(6) 落ち着いた学習環境づくりと家庭学習の充実

各中学校ブロックでの学習規律や家庭学習の手引きの協議

**成 果** 笠岡市「確かな学力」育成プロジェクトを軸に，授業改善や補充学習の充実などの取組を継続した結果，各学校において学習規律の徹底や授業改善が進んだ。その結果，小・中学校の学力・学習状況調査において，成果が少しずつ現れている。学習支援事業に取り組む児童生徒数が減少している。講師の不足，課外時間の過ごし方の多様化等様々な原因が考えられる。今までの学習機会の保障に加え，自分の課題や目標に対して学習計画を立てること等，学習習慣の定着した児童生徒の育成が必要である。学習習慣の定着について，中学校の家庭学習の状況は引き続き課題があるため，各中学校ブロックで「家庭学習・生活習慣の手引」等を作成し，授業との連動や学習・生活習慣の改善を図る活動やキャリア教育の充実に取り組んだ。

## 2 幼児教育の充実

**事業概要** 生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の充実を図る。また，幼児数の減少に伴う今後の就学前教育について他課と連携して検討を行う。

**取組状況** (1) 幼児と児童との交流の機会の設定

- ・保育所（園），幼稚園と小学校との連携：全小学校
- ・保幼小中連携のための研修会の開催 8月2日（木）  
幼児教育と小学校教育のそれぞれの特徴や子どもの育ちと学びをつなげるポイントを理解する  
接続カリキュラムの理解をより深める

(2) 笠岡市幼児教育アドバイザーによる保育所・幼稚園訪問研修  
（各園所2回ずつ）

(3) 家庭や地域との連携

未就園児の園庭解放，家庭，地域の方の保育への参画の推進，幼稚園一時預かり 5園

(4) 子ども子育て会議，幼保一体化チームへの参加及び協議

**成 果** 就学前教育と小学校の連携について研修会を開催し，保幼小連携の充実や各接続カリキュラム実施に向けて研鑽を深めた。また，保幼一体化については，庁内関係課で引き続き協議し，今後の方向性について決定した。

### 3 特別支援教育の充実

**事業概要** 学校・園が関係機関と連携を取りながら，個別支援を必要とする児童生徒の教育の充実を図る。学校・園のニーズに応じて非常勤支援員を配置するとともに，4歳児発達支援事業を実施し，早期からの支援を行う。

**取組状況** (1) 幼・小・中学校（園）への非常勤支援員の配置

- ・幼稚園5園 ・小学校11校 ・中学校5校：計42名配置
- ・笠岡市教育支援員研修会 6月4日
- 講師 県立西備特別支援学校地域コーディネーター

- (2) 特別支援教育担当者研修会の実施
- (3) 就学指導に関わる保・幼・小連絡会の実施：年1回
- (4) 「4歳児発達支援事業」の推進（早期相談・早期支援）
- (5) 笠岡市相談支援ファイル「かけはし」の改訂版の周知，配布

**成 果** 非常勤支援員は昨年と同じ規模で配置し，研修会を実施することができた。さらに効果的に活用するため，県が実施する非常勤支援員の研修会への参加を促していくことも必要と考えている。

### 4 時代に即した学校教育の推進

**事業概要** 教職員のICT活用指導力の向上を図るとともに，情報教育の一層の推進と充実を図る。また，子どもの発達を軸に，幼児期から中学校まで一貫性のある教育を推進する。

**取組状況** 【情報教育の推進】

- (1) ICT機器の効果的な活用に向けた情報提供及び研修会の開催
  - ・新採用教員や異動教員へのICT活用のための研修会の開催
- (2) 学校訪問や校内研修を活用したICT活用に関わる指導・助言
- (3) ICT支援員の配置 全小中学校 月4回程度  
(島しょ部は月2回程度)
- (4) すべての中学校に指導用デジタル教科書を整備
  - 国語，数学，理科，地図，地理，歴史，公民，英語
- (5) 英語教育推進モデル事業
  - モデル校：神島外中学校，神島外小学校，島しょ部小中学校
  - ・児童生徒用タブレット，英語ソフトウェアの活用
  - ・英語科の授業研究，年間指導計画の作成

### 【保幼小中連携教育の推進】

- (1) 中学校ブロックごとに、保幼小中連携会議の開催
  - ・市内統一の目指す子ども像に迫る取組の協議
- (2) ブロック内で連携した学力向上，生徒指導，生活習慣等の取組
  - ・中学校教諭による小学校での出前授業
  - ・学習の手引きや生活の手引きを連携して作成
  - ・家庭学習や基本的生活習慣，アウトメディアデー等の強化週間の取組
- (3) 就学時や入学後の保幼小連絡会や小中連絡会等の実施
- (4) 笠岡市連携教育推進報告書の作成

**成 果** 指導用デジタル教科書の整備，教職員研修の実施，ICT活用支援員の配置日数増等により，教員のICT機器の活用がいつそう日常的になり，授業改善が進んでいる。ICT支援員を通じて，授業支援ソフトの活用について各校への伝達も進んでおり，成果が現れてきている。各中学校ブロックで保幼小中連携教育の取組の充実を図った結果，年度末には笠岡市連携教育推進報告書を作成することができた。

### 課題・方向性

学力向上については，教員の意識改革や授業改善，放課後や土曜日を活用した補充学習等，確かな学力を身に付ける取り組みを引き続き充実させる必要がある。補充学習は，日々の授業や課題と連携させることが重要であるため，講師の確保に努め，取組が継続できるよう支援していく。

家庭学習の充実に取り組む必要がある。家庭学習の時間や内容について中学校ブロックで話し合い，各学校で具現化し取組を行っているが，キャリア教育の手立てとしてもさらに充実を図る必要がある。

### 自己評価 B

笠岡市「確かな学力」育成プロジェクトを核として，教員のICT活用による授業改善や補充学習の充実を図ってきた効果もあり，学力・学習状況調査の結果については，おおむね良好であった。また，指導者用デジタル教科書の活用定着，ICT活用支援員配置日数増等により，ICT活用がさらに日常化し，授業改善を推進することにつながった。放課後，土曜日を活用した補充学習と授業との連動，家庭学習と授業との連動等をさらに充実させる必要がある。

中学校ブロック内の校種が異なる教員同士が話し合う機会や内容がさらに充実した。また全中学ブロックで市内統一の目指す子ども像に迫る取組を設定し，それに基づいて中学校ブロックのテーマ・目指す子ども像を協議し，実践した。また，学習規律の徹底

や家庭学習の手引の作成，基本的な生活習慣の定着等，連携して取り組んでいる。中学校ブロック内で互いの授業を参観したり外国語等の出前授業を実施したりする機会がますます増えた。保幼小中連携を学力向上とともに就学前教育や特別支援教育等の視点からも検討し，研修会や情報交換を行っているが，さらに取組内容を充実させたい。年度末に各中学校ブロックで「笠岡市連携教育推進報告書」を取りまとめたが，今後も質的な充実をいっそう図った内容を構築したい。

令和2年度からの小学校新学習指導要領の全面実施に向け，英語教育，特別な教科道徳，就学前教育等の充実も継続的・着実に図り，実践を市全体に広げていきたい。

点検・評価項目 豊かな心と健やかな体をもつ子どもの育成

担当課 学校教育課

目 標 子どもたちにとって安全で安心して生活できる教育環境の中で、道徳教育や体験活動を推進し、幼児期からの基本的な生活習慣の確立及び規範意識の高揚など、豊かな人間性や社会性を育み、心身ともに健康な子どもの育成を図る。

### 事務事業

#### 1 豊かな人間性を育む教育の充実

事業概要 道徳教育の一層の充実を図るとともに、人・社会・自然などの体験活動を通して子どもたちのよりよい人格形成を図る。

取組状況 (1) 道徳教育の充実  
(2) 総合的な学習の時間を中心とした体験活動の充実  
・「豊かな心を育む総合推進事業」  
(3) 中学生の職場体験「いきいきチャレンジたいけん」の実施  
・市内全中学2年生対象：4日間 参加生徒数 332名  
(4) かさおか青少年宿泊体験事業「かさおか海の学習」  
・笠岡小、金浦小、城見小、大井小、吉田小、神内小、大島小、北川小  
(5) CMで伝える地域自慢コンテスト  
・金浦小、陶山小、北川小、神島外小、真鍋小  
・笠岡西中、真鍋中、神島外中、小北中  
計60名の児童生徒が参加

【平成30年度岡山県学習状況調査中学校1年の結果「肯定的」回答%（小北中除く）】

( )内は29年度、下線は県と比較

内面に係る質問項目	笠岡	県
自分には、よいところがあると思う	77.2(63.1)	79.3(68.5)
将来の夢や目標をもっている	85.0(79.4)	86.3(83.0)
学校のきまりを守っている	<u>95.0</u> (97.5)	94.6(97.6)
人が困っているときは、進んで助けている	86.2(71.7)	90.4(76.3)
人の役に立つ人間になりたいと思う	—(82.2)	—(86.9)



【暴力行為発生状況〈公立：国立：私立計〉（小北中含む）】

※ 1,000人当たりの発生件数（発生件数÷在籍児童生徒数×1000）

年度	小学校			中学校		
	全国	岡山県	笠岡市	全国	岡山県	笠岡市
H27	2.6	2.9	0.0	9.5	11.3	0.79
H28	3.5	3.7	0.9	8.8	10.1	1.72
H29	4.4	4.69	5.99	8.5	10.2	5.4

**成 果** 岡山県学力・学習状況調査における豊かな人間性の育成に関する項目の肯定的回答は昨年度より高い割合であった。これからも教育活動全体の中で自己肯定感を高める取り組みを継続していきたい。また、中学校における暴力行為の発生は全国及び岡山県平均と比較すれば、落ち着いた学校生活を送っていることがうかがえる。3年計画の3年目であった「CMで伝える地域自慢コンテスト」では、9小中学校・60名の児童生徒が参加した。地域自慢の取材を通して郷土を大切にする気持ちを高め、相手にわかりやすく伝える工夫を繰り返すことにより情報活用能力を高めた。

## 2 健康教育の充実と食育の推進

**事業概要** 子どもの心身の健康を保持・増進していくために、基本的な生活習慣の定着や食育の充実を図り、健康を大切にする意欲や態度を育てる。

**取組状況** (1) 年間指導計画に基づく食育の実施

- ・栄養教諭や栄養士、調理員等による給食時の学校訪問実施  
小学校 57回、中学校 13回実施

- ・栄養教諭による食育の授業・朝食指導の実施  
朝食指導 小学校 13校 14回

- ・残食率の推移

平成30年度 14.5%（H29：12.4%，H28：13.0%）

平成30年度からは提供量に対する残食量の実測で評価。

(2) 学校保健委員会・学校園における食に関する講話や試食会の実施

- ・講話：幼稚園 4園 小学校 1校 中学校 2校

- ・試食会：幼 8園・小 11校・中学校 1校 において計 22回

(3) 笠岡市学校給食展開催（2月）

(4) 学校給食における地産地消の推進

地産地消の取組では、市内業者とも連携し、献立を工夫した。

今井地区まちづくり協議会と連携し、たまねぎを学校給食に使用し、地元の食材への関心が高まった。（1回実施）

#### 【県内産使用割合】

・平成30年度 43.6% (H29:53.0% H28:39.5%)

県教育委員会は平成30年度から調査を中止したため、県平均との比較はできなくなった。

#### (5) アレルギーのある児童生徒への対応

1学期：卵・乳・そばの完全除去

2学期：特定7品目（卵・乳・えび・かに・小麦・落花生（ピーナッツ）・そば）の完全除去

アレルギー対応対象者 全82名

・除去食提供 幼：2名 小：19名 中：1名

・牛乳のみの対応 幼：2名 小：1名 中：3名

・情報提供 幼：2名 小：39名 中：8名

・給食中止・幼：0名 小：0名 中：2名

・牛乳だけは飲む：幼0名 小2名 中1名

平成29年度までの実績

鶏卵除去食：19人 (H28：19人)・豆乳希望者：4人(H28：6人)

#### (6) 薬物乱用防止教室の開催 全中学校

**成 果** 栄養教諭による食育の指導は、早い時期に児童生徒自身が朝食の大切さを理解し、実践しようとする意欲を持たせるために、小学校5年における朝食指導を中心にこれまで同様に行った。学校給食における地元食材の使用率は今年度から県下統一のモニタリングは行われなくなったが、笠岡市は独自に取り組みを継続していく。大井南に学校給食センターが移設され、1学期の間は調理・配送に関するトラブルがあったが、時間経過とともに円滑に給食提供が行われるようになった。新センターでは学校給食衛生管理の基準に基づき、安全な給食提供を行っている。幼稚園へ5月から給食実施を行い就学前の食育に取り組む環境を整えた。アレルギー対応に関しては、アレルギー対応給食専用ブースを設け、完全除去食の提供開始を行うとともに、平成31年2月に実施した「笠岡市学校給食展」において、学校給食のアレルギー対応について、啓発活動をおこない、実際にアレルギー特定7品目を使用しない対応給食のカレーライスとポテトサラダを試食してもらい、給食のアレルギー対応での安全確保について理解を得ることができた。薬物乱用防止については、すべての中学校で実施した。

### 3 学校体育・スポーツ活動の充実

**事業概要** 学校と家庭・地域が連携して、児童生徒の体力の向上を図る。

- 取組状況** (1) 校内における体力向上の取組
- ・水泳や陸上の特別練習の実施：小学校 17 校
  - ・業間運動の実施：全小学校 ・部活動の充実：全中学校
  - ・駅伝大会に向けた特別練習の実施：中学校 6 校（小北中含む）
- (2) 新体力テストの実施（全小・中学生対象）
- ・「A」段階（優秀章）人数

	平成 30 年度		平成 29 年度	
	男子	女子	男子	女子
小学校	162(16%)	178(17%)	184(17%)	174(16%)
中学校	44(8%)	156(33%)	62(11%)	191(35%)

- (3) 岡山県「子どもの運動の習慣化事業（チャレンジランキング）」への参加
- ・平成 30 年度：小 5 校，中 2 校 平成 29 年度：小 6 校，中 2 校

**成 果** 新体力テストにおいて「A」段階が、小学校女子で増加した。岡山県が実施しているチャレンジランキングに継続して参加し、体を動かす習慣につながる取組として実践している。

#### 課題・方向性

「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」の項目等で多くの児童生徒が肯定的な回答になるように、引き続き自己肯定感・自己有用感を高める取組やキャリア教育の充実が必要と考える。基本的な生活習慣の確立や規範意識の醸成については、学校・家庭・地域・関係機関と連携した取組をいっそう充実させることが課題である。

#### 自己評価 B

豊かな心や健やかな体をもつ子どもを育成するためには、各学校園の取組を充実していくとともに、家庭との連携・協力した取組が不可欠である。

調査結果では県平均よりもやや低い割合を示していることから、体験活動の充実、校種間連携や家庭・地域連携を通して、自己肯定感・自己有用感を高めたり、規範意識を向上させたりすることがさらに必要である。

健康教育、食育の推進については、栄養教諭の指導や学校給食センター職員の学校訪問、学校保健会や給食展開催等、様々な機会をこれまで同様に設けてきた。全市的な取組を通して、子どもだけでなく保護者へも周知を図る手立てをさらに工夫していくことが必要である。新学校給食センターの有効活用も推進する必要がある。

点検・評価項目

安心して学習できる教育環境づくり

担当課

学校教育課

目標

地域に開かれた学校づくりを推進し、保護者や地域との信頼関係を構築するとともに、子どもたちが安心して学習できるように教職員の資質・能力の向上や相談体制の充実に努める。

事業概要

### 1 開かれた学校づくりの推進と学校教育体制の整備

**事業概要** 学校評議員会や学校運営協議会等を通して、地域住民や保護者の意見や助言を学校運営や教育課程の編成に生かすとともに、開かれた学校づくりを推進する。また、いきいき交流スクール、わくわくシーサイドスクール、神島外小・中学校転入学特別制度を積極的に推進する。

**取組状況** (1) オープンスクールの実施：全校で4日間

【参加者数（小北中含む）】

	平成30年度	平成29年度
保護者	2,082人	2,610人
保護者以外	991人	1,177人
計	3,073人	3,787人

(2) 学校運営協議会・学校評議員会の活用

・学校運営協議会（笠岡東中・笠岡西中・金浦中・新吉中・北川小  
：年4～5回開催）

・学校評議員会（その他全校園：年2～3回開催）

(3) 学校自己評価及び学校関係者評価の実施とその結果を生かした次年度教育課程の編成

(4) CMSによる積極的な情報発信（全小中学校）

(5) 地域学校協働本部事業の活用 5中学校・13小学校

・金浦中学校区、大島中学校区、北木中学校区、新吉中学校区、  
小北中学校区

・中央小、神内小、神島外小、笠岡小

・北川小、六島小

(6) 転入学特別制度の活用

・「わくわくシーサイドスクール」活用児童：1名

・「神島外中学校転入学特別制度」活用生徒：6名

・「神島外小学校転入学特別制度」活用児童：0名

**成果** 学校運営協議会もさらに軌道に乗り、地域の方の学校運営参画の意義が増している。また、地域学校協働本部事業も継続して取り組んでいる。

## 2 教職員の資質・能力の向上と研修体制の確立

**事業概要** 市内の幼・小・中全教職員で組織する教育研修所，教科等研究委員会及び各種教職員研修における研究を推進する。

**取組状況** (1) 笠岡市教育研修所による研修の充実

【研究指定校園発表（中間期）】

・新吉中ブロック（吉田小，新山小，新吉中）…小中一貫教育

【研修部会の参加率・回数等】 ( ) 内は 29 年度

定例部会			特別部会		
参加率 83.3% (81.6%)			参加率 78.5% (75.7%)		
校種	部会	研修会	校種	部会	研修会
幼	2	8回	幼小	1	2回
小	9	26回	小	5	11回
中	9	25回	中	6	12回
小中	3	13回	幼小中	3	6回

(2) 学力向上プロジェクト研修会

・6月11日，11月30日，1月24日：授業づくり  
東北学院大学文学部教育学科 教授 佐藤 正寿 先生

(3) 岡山県教育委員会・岡山県総合教育センターと連携した研修会

(4) 服務規律の徹底

教職員の服務規律の徹底について各校で計画的な研修を実施した。

(5) 外部講師活用

金浦中（ユニバーサルデザイン）

新吉中（キャリア教育）

**成果** 新学習指導要領のねらいに沿った授業づくりに向けて，専門的に研究されている講師等に研修を依頼して自主的に研修することができた。研修部会への参加率が昨年より高くなっており，引き続き研修の充実を図りたい。若手教員や臨時的任用講師等の割合がいつそう高まる中，著名な講師を招聘して授業力向上に関する実践的な研修を引き続き行うことができた。

## 3 安全教育・防災教育の推進

**事業概要** 各校園において，安全点検を徹底するとともに，危機管理部と連携を図りながら火災や地震，津波等の緊急事態発生時には，全教職員及びすべての子どもたちが適切に対応できるよう避難訓練を充実させるなど，安全で安心して生活できる実効性のある危機管理体制づくりを推進する。

また，警察と連携し，児童生徒の健全育成と安全確保を図る。

- 取組状況**
- (1) 教職員及び保護者による通学路の安全点検の実施：全小・中学校
  - (2) 保護者や地域住民との積極的な連携
    - ・地域と連携した避難訓練の実施
    - ・安全パトロール隊，見守り隊，子ども110番 等
    - ・救急救命法講習会の開催
  - (3) 緊急配信メール「すぐメール」の活用
  - (4) 「地震・津波等対応マニュアル」及び防災教育実施計画の見直し
  - (5) 岡山県警察本部と笠岡市教育委員会との相互連携制度に関する協定による警察と連携した安全確保

**成 果** 地震や津波を想定した避難訓練の中で，28年度からは小学校で「引き渡し訓練」を必ず行うこととし，保護者や地域と連携した取り組みをいっそう重視した。また，災害時対応マニュアルの見直しも進み，内容の充実も図られた。

#### 4 教育相談・支援体制の充実

**事業概要** 不登校やいじめなどの学校不適應の問題，発達障がい等による特別な支援が必要な子どもへの対応，児童虐待などの今日的な課題に対応することができるよう，教育相談室と教育支援センターの相談・支援体制の充実に努めるとともに，関係機関との連携を図る。

- 取組状況**
- (1) 「笠岡市いじめ・不登校対策総合推進事業」に基づいた取組の推進
  - (2) スクールカウンセラーの配置 (市内全小中学校)
  - (3) スクールソーシャルワーカーの活用 (市内全小中学校)
  - (4) 不登校対策支援員の配置 (4校)
    - ・笠岡東中，笠岡西中，金浦中，神島外中
    - 登校支援員 (4校)
    - ・笠岡小，中央小2人，金浦小，大井小

【教育相談室・教育支援センターへの通室数及び相談・支援件数(小北中含む)】

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
通室児童生徒数 (含仮通室)	10名 (小1・中9)	7名 (小3・中4)	8名 (小3・中5)
教育相談室	延べ 553件	延べ 513件	延べ 496件
教育支援センター	延べ 573件	延べ 500件	延べ 456件

【不登校発生状況〈公立：国立：私立計〉（小北中含む）】

※ 出現率（不登校児童生徒数÷在籍児童生徒数×100）

年度	小学校			中学校		
	全国	岡山県	笠岡市	全国	岡山県	笠岡市
H27	0.42	0.47	0.27	2.83	2.51	1.10
H28	0.47	0.51	0.27	3.01	2.52	0.51
H29	0.54	2.73	0.23	3.25	0.57	1.53

【いじめ発生状況〈公立：国立：私立計〉（小北中含む）】

※ 1,000人当たりの認知件数（認知件数÷在籍児童生徒数×1000）

年度	小学校			中学校		
	全国	岡山県	笠岡市	全国	岡山県	笠岡市
H27	23.2	5.95	2.71	17.1	8.96	7.08
H28	36.6	12.24	0.89	20.8	12.52	6.88
H29	49.1	15.79	5.99	24.0	16.71	15.29

**成 果** 学校や教育相談室、関係機関との連携により、不登校児童生徒はすべて相談機関とかかわりながら指導や支援を受けている。いじめの認知については、早期発見・早期対応のためにも子どもの実態把握がより確実に行われるようするために必要なことであり、認知件数は増えている。今後も校長会等で指導していきたい。

**課題・方向性**

開かれた学校づくりや教職員の研修など、安心して学習できる教育環境づくりの実現に向けて、引き続き取組を進めることができた。不登校に関して、小学校では出現率が減少しているが、中学校では増加傾向にある。特に小学校で「新たな不登校を生まない取組」に力を入れて、不登校児童生徒数のいっそうの減少を図りたい。いじめ認知件数は増加しているが、全国・岡山県と比べて少ない。いじめの定義についての再確認を行い、早期発見・対応を図ると共に、未然防止の取組も充実させる必要がある。

**自己評価 B**

不登校については、相談体制の充実や各機関の連携により、取組の成果が引き続き現れている。学校と教育相談室、関係機関と保護者が連携する中でソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、登校支援員の配置により家庭への支援がさらに充実してきた。登校時の子どもや保護者への支援は、登校できる有効な条件の一つになっている。いじめについては、早期発見に加えて、いじめを未然防止するための「集団における人間関係づくり」等の取組も、いっそう重視しなければならないと考えている。

点検・評価項目	人権教育の推進
担当課	学校教育課

**目 標** 「生きる力」を育む中で人権尊重の精神を養うとともに、望ましい人間関係づくりに努める。また、様々な人権課題について、主体的に解決に取り組む実践的態度を養うため、「知的理解の深化と人権感覚の育成」「自立支援」「人権を尊重する環境づくり」の3視点から教育活動全体を通じて、計画的・継続的に人権教育を推進する。

**事 務 事 業**

**1 教育・啓発活動の推進**

**事業概要** 人権教育推進体制の確立のための取組を実施する。

**取組状況** (1) 各校における人権教育全体計画・年間指導計画の作成及び担当者研修の実施

- ・人権に関する知的理解の深化と人権感覚の育成
- ・人権課題解決のための自立支援
- ・人権を尊重する環境づくり

(自他を尊重する集団形成, 人権に配慮した教育指導)

(2) 人権週間(12月)における取組

各校において、各教科・総合的な学習の時間・特別活動等における様々な人権課題を題材とした学習を通して、共生社会の実現に向けた意識の高揚を図った。

(3) 人権啓発ポスターコンクール実施(小北中含む)

	平成30年度	平成29年度
応募作品数	56点	56点
入賞作品数	22点	23点

(4) P T A人権教育研修会

参加率：平成30年度30%、平成29年度48.9%

**成 果** 学校園の実態や教職員のニーズを踏まえて、各研修会のテーマの設定、資料提供や講師の紹介を行った。研修会で活用できるビデオ教材等の紹介も行い、活用されている。

**2 教職員の研修の充実**

**事業概要** 人権教育担当者の研修、指導者養成講座・研修講座等を開催するとともに、人権教育研究協議会育成事業を実施する。



## 取組状況 各種研修講座の実施

- ・小・中学校人権教育担当者研修会実施：年2回
- ・人権教育指導者講座の実施：年4回（H29 年4回）
- ・自立促進連絡会の実施：年6回（H29 年6回）
- ・笠岡市人権教育研究協議会事業実施の支援：年4回
- ・各中学校ブロック人権教育研修会等の実施：各ブロック年1回

**成 果** 学級及び様々な集団における人間関係づくりや特別支援教育の視点からの諸取組等において、児童生徒一人一人の人権・存在感を大切にするために、教職員の人権感覚を高める目的で日常的に研修等を実施している。スマートフォンやネットでの人権に関わる課題も計画的に取り上げ、実態を踏まえた具体的な研修を実施し、PTA人権教育研修会では保護者と児童生徒と一緒に参加する研修会の企画がいっそう増えている。様々な外部講師の活用が定着してきた。

## 課題・方向性

スマートフォンの普及などにより、ネット社会で大切にしたい人権感覚について研修する機会が増えている。しかし、生徒間のSNS利用などの実態は分かりにくく、意図的・計画的に保護者に対しても指導していく姿勢を怠ってはいけないと考える。

## 自己評価 B

幅広い人権課題に対応した研修・事業を引き続き実施し、成果は上がっている。PTA人権教育研修会の参加率は、各学校における日程や内容の設定を工夫していくことにより、増加していくための工夫が必要である。

スマートフォンやネットでの人権に関わる課題については、生徒会などで中学生自らスマートフォンの利用の仕方について考える取組がいっそう拡大してきている。一方で、児童生徒の自主的な取組に任せるだけでなく、教員がものの見方・考え方を指導しながらメディアとのつきあい方や人権問題について考えさせる機会も、充実させる必要がある。そのためにも、増加しつつある若い教員を対象とした研修機会をさらに充実させ、高い人権感覚を備えた人材の育成を図って行きたい。

また、岡山県学力・学習状況調査の児童生徒質問紙にある「テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていたか」という問いで、小学校5年は74%が決めていると回答したのに対して、中学校2年は51.2%にとどまっている。こうした実態も注視しながら、保護者への働きかけについてもいっそう充実を図って行きたい。

点検・評価項目

学校施設等の整備

担当課

教育総務課

目標

耐震診断，耐震化による安全対策の充実と校舎等施設の営繕等を適切に実施し，教育環境の向上に努める。

事業概要

### 1 学校施設の耐震化事業の推進

事業概要 学校施設は，児童・生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であると同時に，多くの学校が災害時における各地域の避難場所としての役割を担っている。こうしたことから，教育環境の安全確保及び危惧されている南海トラフ地震に対処するための児童・生徒及び地域住民の安全拠点として整備をする。

取組状況 昭和 56 年 5 月以前の旧耐震設計基準で建てられた学校施設について，耐震診断（2 次）の結果をもとに，耐震化が必要な建物について方策を検討した。

また，非構造体の耐震化についても，落下防止等の対策を引き続き実施し，安全な教育環境の提供を図った。

<小中学校の耐震化率（平成 30 年度末）>

笠岡市 100%（前年比：±0%）（非木造）

97.4%（木造含む）

成果 木造校舎及び非構造体の耐震化については，今後の方策について検討を進めた。

### 2 学校施設の空調設備設置の推進

事業概要 児童・生徒の授業への集中による学力向上効果や近隣住民への騒音対策及び園児の体調調整を図るため，小・中学校の普通教室，特別教室（音楽室，理科室）及び幼稚園の保育室，遊戯室に空調設備を整備する。

取組状況 学校施設空調設備設置事業

快適な教育環境を提供するため，学校施設へ年次的に空調設備を整備する。平成 30 年度は設置工事を中学校 1 校，小学校 4 校，幼稚園 3 園で実施し，実施設計を小学校 6 校で実施した。

<平成 30 年度に空調設備設置工事を実施した学校・園>

金浦小学校, 城見小学校, 大井小学校, 大島小学校, 真鍋中学校,  
今井幼稚園, 尾坂幼稚園, 北木西幼稚園

<平成 30 年度に空調設備設置工事実施設計を実施した学校>

今井小学校, 陶山小学校, 吉田小学校, 新山小学校, 北川小学校,  
神内小学校

**成 果** 空調設備の設置事業については, 計画的に設置工事及び実施設計を実施し, 計画どおり, 中学校に続き幼稚園についても, 全園で設置済みとなった。

### 3 校舎等施設の整備と安全確保の推進

**事業概要** 学校施設の営繕・整備について, 適切に実施し, 児童・生徒の安全確保を進める。また, 大島小学校の児童数の増加に伴い仮設校舎の整備を行う。

**取組状況** 学校施設の営繕・整備

学校現場からの要望を集約し, 危険度・緊急度を精査し, 学校施設の営繕・整備を行った。また, 大島小学校については仮設校舎の整備を行った。

#### <主な工事>

学校名	事業名	事業費 (千円)
大島小学校	校舎整備事業	3,618
今井小学校	階段室壁修繕工事	1,144
金浦小学校	校舎床修繕工事	1,166
城見小学校	理科室実験台修繕工事	1,274
大井小学校	擁壁設置工事	1,242
北川小学校	屋内運動場床修繕工事	1,630
大島小学校	ロッカー設置工事	745
大島小学校	仮設便所通路庇取付工事	928
神内小学校	プール修繕工事	1,274
神島外小学校	体育館スロープ設置工事	658
城見小学校	トイレ洋式化工事	1,209
陶山小学校	体育館トイレ洋式化工事	993
神島外小学校	トイレ洋式化工事	1,209
大島中学校	②, ④棟屋根改修工事	20,336

笠岡東中学校	グラウンド防球ネット修繕工事	390
笠岡西中学校	保健室シャワー室設置工事	1,274
笠岡西中学校	プール濾過循環ポンプ取替工事	633
白石中学校	防犯カメラ設置工事	896
金浦中学校	トイレ洋式化工事	1,134
北木中学校	トイレ洋式化工事	691
大島幼稚園	西側庇屋根修繕工事	196
白石幼稚園	総合遊具解体工事	194
笠岡幼稚園	トイレ洋式化工事	1,080

**成 果** 学校施設等については、昨年と同様に優先度等を勘案し、適切な営繕及び整備を進め、より安全で快適な教育環境の向上に努めた。

また、大島小学校については、校舎の整備を行い、教室不足の解消を図った。

#### **課題・方向性**

学校施設の耐震化は、木造校舎の耐震化について検討を進めたが、決定に至らず、今後に課題を残した。また、非構造体の耐震化についても、落下防止等の対策を引き続き実施し、安全な教育環境の提供を図る。

学校施設の営繕・整備についても、危険度・緊急度等を勘案し、児童・生徒が安全で安心した学校（園）生活が送れるよう、教育環境の向上に努める。

学校施設空調設備設置事業については、次年度以降も計画的に事業の進捗を図る。

#### **自己評価 B**

学校施設の耐震化事業については、引き続き木造校舎及び非構造体の耐震化の早期完了に努める。

空調設備の設置については、設置工事及び実施設計を計画通り実施し、事業の進捗を図った。

また、空調設備設置の推進を図るため、国の補助事業などを積極的に活用することにより、財源の確保に努めた。

校舎等施設の整備と安全確保の推進については、危険度・緊急度を勘案した整備を実施しており、引き続き、限られた予算の中で、危険度・緊急度を勘案し施設整備を図っていきたい。

## 《 心豊かな生きがいを育む生涯学習の推進 》

点検・評価項目	生涯学習による人づくりまちづくり
担 当 課	生涯学習課

**目 標** 市民が自由に学習機会を選択して学ぶことのできる環境の充実に一層努めるとともに、学んだ成果を活かし合い、市民一人ひとりの豊かな学びと地域力の高い地域社会の形成による「学びが人を育てるまち 笠岡」の実現を目指す。

### 事 務 事 業

#### 1 生涯学習の推進

**事業概要** 自発的な学習の推進、学習機会の拡充、社会参加活動の促進等、人づくり・まちづくりを推進する。

**取組状況** (1) 生涯学習推進体制の充実

- ・本部会（7月25日）生涯学習推進基本方針の決定ほか  
※西日本豪雨対応のため、書面会議による
- ・懇話会（8月24日）生涯学習推進基本方針、関係団体が行き組む社会教育・生涯学習事業に対する意見交換
- ・企画委員会（調査研究事項がなかったため、招集せず）

(2) 生涯学習まちづくり出前講座（73講座）の開催

受講者数	30年度	13,175人	29年度	13,187人
実施件数	30年度	360件	29年度	344件

(3) 市民大学教養講座

受講者数	30年度	35人	29年度	43人
------	------	-----	------	-----

(4) 託児ボランティアの支援

託児ボランティア「たんぽぽ」への活動補助を行った。

派遣人数	30年度	48人	29年度	55人
託児人数	30年度	121人	29年度	105人

(5) 生涯学習諸学級（幼児学級、女性学級、高齢者学級、成人学級、チャレンジ学級 20学級）の開催

各世代に見合った体験活動や学習会を行うことで、生涯学習の推進を図るだけでなく、参加者同士の親睦・交流を深めた。

また、全幼児学級による交流会「若いいちょうの木の集い」を開催し、地域間の交流を図った。

参加者数	30年度	37人	29年度	45人
------	------	-----	------	-----

(6) 第30回生涯学習フェスティバルの開催

「学びが人を育てるまち 笠岡」をテーマに、舞台発表 20 団体、展示発表 40 団体、体験・販売コーナー 29 団体、合計 89 団体が日頃の学習成果を発揮した。第 30 回大会を記念し、高校生を対象とした「PR ポスターデザインコンテスト」、公民館を対象とした「映像で振り返る生涯学習～公民館リレー回顧～」の 2 つの記念事業を実施した。また、各地区から選出された生涯学習功労者に感謝状を贈呈した。

本取組により平成 30 年度から文部科学省ホームページにて「生涯学習宣言都市」として紹介されるようになった。

参加者数	30 年度	4,250 人	29 年度	3,900 人
出展団体	30 年度	89 団体	29 年度	79 団体

(7) 県西部の文化（広域連携事業 4 回 8 講座）の開催

3 市 2 町の連携により各地域の文化や歴史等にふれ合う機会を提供し、参加者の学習意欲を引き出すことができた。今後、各市町ともマンネリしてきたメニューの検討が必要となってきた。

受講者数	30 年度	50 人	29 年度	50 人
------	-------	------	-------	------

(8) 北木島宿泊研修所の整備・運営

宿泊研修施設を指定管理により運営し、北木島の地域資源を活用した体験、交流を通じて、青少年の健全育成を促進した。また、3 階研修室における空調設備新設工事を実施した。

延べ利用者数	30 年度	1,618 人	29 年度	1,626 人
--------	-------	---------	-------	---------

**成 果** まちづくり出前講座では、受講者数、実施件数ともに平成 29 年度とほぼ同様の結果となり、市民に様々な分野の学習機会を提供することができた。また、メニュー数が 4 つ増えたことにより、市民の学習機会の拡充が図れた。

生涯学習フェスティバルは、昨年度から更に多くの参加団体、参加者があり、市民の日頃の生涯学習の成果を発揮する場として盛大に開催することができた。中・高校生の参画を促した結果、例年より多くの若者の来場を確認することが出来た。

北木島宿泊研修所の 3 階研修室に空調設備を新設することで、利用者に快適な研修を提供する環境が整備することができた。

## 2 社会教育関係団体の育成

**事業概要** 団体がそれぞれの立場で生涯学習に取り組むことができるよう、助言や支援を行い、社会教育関係団体の育成を図る。

**取組状況** 社会教育関係団体へ年間活動補助金を交付し、組織の円滑運営及び充実

に努めた。また、社会教育関係団体が実施する事業について教育委員会が共催・後援することで各種団体の支援育成に努めた。

- (1) 女性団体育成事業（笠岡市婦人協議会）の支援
- (2) 家庭教育推進事業（笠岡市PTA連合会）の支援
- (3) 公民館活動推進事業（笠岡市公民館協議会）の支援

**成 果** 単組婦人会の退会により団体の規模が大幅に縮小したが、例年どおりの活動を維持することができた。また、積極的な運営や新たな取組ができるよう、助言や支援を行い、他市町の団体と交流や意見交換する場を設けることで、活動の活性化及び意識の向上を図った。

### 3 公民館活動の推進

**事業概要** 地域の生涯学習の拠点として、地域課題や時代に即応した幅広い活動を行い、地域づくり、まちづくりに努める。

**取組状況** (1) 中央公民館主催・自主講座

項目	主催講座		自主講座	
	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 29 年度
講座数	5 講座	6 講座	49 講座	52 講座
開催回数	109 回	123 回	1,009 回	1,109 回
受講者	1,804 人	2,080 人	16,150 人	16,961 人

(2) 中央公民館講座修了作品展

開催日時	平成 30 年度	平成 29 年度
	平成 31 年 3 月 9～10 日	平成 30 年 3 月 10～11 日
発表講座	54 講座	58 講座
来場者	503 人	508 人

(3) 地区公民館各種講座，文化祭等による作品発表会

地区公民館 20 館 343 講座開催（平成 29 年度 345 講座）

(4) 公民館指導者の育成

- ・公民館協議会（館長・主事会） 年 2 回開催
- ・主事研修会 年 3 回開催
- ・県公民館連合会等公民館等職員研修会 年 3 回参加

(5) 地区公民館活動助成事業

地区公民館 20 館 108 事業実施（平成 29 年度 108 事業）

(6) 公民館施設整備事業

施設・設備の整備については緊急度の高いものから整備を行っている。

## 整備費

項目	内 容	平成 30 年度	平成 29 年度
公民館施設整備	整備費	13,011 千円	23,784 千円
地区公民館活動助成費	助成費	6,000 千円	6,000 千円

## 整備費内訳

公 民 館 名	整 備 内 容	事業費 (千円)
飛島, 北木西	空調設置工事	1,942
大井, 神島外	トイレ改修工事	9,882
陶山, 大井	カラー複合機	750
今井, 飛島	冷蔵庫	224
神島外	ガス給湯器	97
今井	プロジェクター	81
中央	マイク	35

**成 果** 県公民館連合会等の研修に参加し、モデル公民館の取組や先進的な公民館活動など優れた実践事例を視聴することにより、笠岡市の公民館活動への参考とすることができた。

老朽化した施設の改修や設備の新設を行い、快適に学習でき、利用しやすい環境を整備するとともに、作業の効率化や公民館活動の幅を広げることができた。

公民館活動助成事業では、地区公民館の創意工夫した事業により、多種多様な活動を通じて教養を深めるとともに、三世代交流等、地域のふれあいを推進することができた。

## 4 図書館活動の推進

**事業概要** 市民ニーズに対応できる図書資料及び郷土資料の収集・保存。また、多様な生涯学習機会を提供する。

## 取組状況

内容	平成 30 年度	平成 29 年度
来館者数	99,441 人	86,167 人
貸出者数	本館 61,751 人 ステーション 4,577 人	本館 57,745 人 ステーション 4,946 人
貸出冊数	本館 254,543 冊 ステーション 22,219 冊	本館 233,464 冊 ステーション 24,537 冊
蔵書数	一般書 121,995 冊 児童書 60,958 冊	一般書 117,663 冊 児童書 59,122 冊



ブックスタート事業	配付 227 人	配付 241 人
「笠岡子ども司書」 養成講座	受講者 10 人	受講者 10 人
紙芝居とおはなしの 会	開催回数 19 回 延べ参加者数 325 人	開催回数 24 回 延べ参加者数 340 人
本のリサイクル会	参加者数 136 人, 3 団体 譲渡冊数 1,535 冊	参加者数 122 人, 8 団体 譲渡冊数 1,509 冊
その他イベント	(40 周年記念事業) 開催回数 10 回 延べ参加者数 904 人 (その他のイベント) 開催回数 27 回 (10 事業) 延べ参加者数 635 人	開催回数 12 回 延べ参加者数 369 人

### 整備費

項目	平成 30 年度	平成 29 年度
工事請負費	休憩室整備 416 千円	フリーWi-Fi 整備 973 千円
図書購入費	13,007 千円	12,996 千円

**成 果** 平成 29 年度からの休館日の削減・開館時間の延長等により、図書館の利用状は増加している。来館者数は昨年度比約 1.2 倍（約 13,000 人増加）、貸出冊数は 1.1 倍（約 2 万冊増加）になり、市民に生涯学習の場を提供することに寄与した。

平成 30 年度は、図書館が現在の場所に新築移転して 40 年という節目の年であったため、「40 周年記念事業」を一年を通して行った。「図書館まつり」、講演会やジャズコンサートの開催、図書館川柳の募集等、多くの行事を通じて、今まで図書館に来たことがない市民の来館につなげることができた。また、図書館キャラクターの「きやにゃ」と「もりし」が誕生し、図書館のイメージアップに貢献している。

図書館サービス充実事業としては、1 階の新聞庫を改修し、休憩室を新設した。図書館の開館中は、いつでも飲食ができるようになり、利用者の利便性の向上を図ることができた。

### 課題・方向性

出前講座では、防災・環境・交通分野が全体の約 84% と高い割合を占めているが、それ以外の分野の実績が少ないので、市民が学びたいこと、知りたいことを把握し、講座

内容の見直しや新講座の開設を検討する必要がある。そのためにも、今まで以上に関係部署・外郭団体と情報交換・共有を図っていききたい。

生涯学習フェスティバルでは、出展団体数・参加者数ともに増え、前年度を超える盛り上がりを見せたが、来場者用の駐車場不足や出展団体の受入れが施設の規模や時間的に限度に近いことなど新たな課題が生じてきており、今後の企画運営では、これらの課題解決に向け、実行委員や出展団体等の関係者と調整を図っていききたい。

北木島宿泊研修所では、開所以降、施設の利便性の向上を図ってきたが、利用者数が横ばいの状態が続いている。今後、青少年に関心を持ってもらえるような特色ある体験プログラムを企画し、市内外に本施設の魅力をPRできるよう、指定管理者と連携をして普及啓発に努めていききたい。

社会教育関係団体や生涯学習活動支援団体では、会員の高齢化、固定化等により活動規模を維持・縮小せざるを得ない状況が続いている。活動の支援だけでなく、指導者の育成や担い手の発掘にも支援していききたい。

図書館においては、昨年度から引き続き、様々な理由で図書館への来館が困難な市民へのサービスが課題である。移動図書館「かぶとがに号」の運行、市艇「しらさぎ」による島しょ部への配本、図書館職員による施設への配本等により、少しずつではあるが、市内全域への図書館サービスができつつある。しかし、個人レベルでのサービスを考えると、まだまだ行き届いていない点もあるので、取組内容を考えていききたい。読書量が大きく減少する中高大学生については、読書量増加のための有効な手段がなく、図書館での取組としては、自習室の開放やTwitterの活用による情報発信等にとどまっている。自習室のみを利用している中高大学生が、本を手にとってみたくなるような工夫をしていく必要がある。

## 自己評価 A

出前講座、諸学級、公民館活動、図書館活動などを通じて市民に多種多様な学習機会を提供することができた。生涯学習フェスティバルでは、参加団体が89団体、参加者数が約4,250人と盛大に開催することができ、日頃の学習成果を発揮する場として十分なものを提供できた。社会教育関係団体等の支援においては、会員の減少が進む中、一定の活動の維持に努めたが、指導者・担い手の育成という部分では十分な支援が出来なかったもので、今後の課題として検討していききたい。

図書館においては、昨年度と開館日数は同じだが来館者等は増えていることから、従来の休館日が開館していることが周知されつつある。また、平成30年度は「昔読んだ本も今読みたい本もここにある」をキャッチコピーとして40周年記念事業に取り組んだ。40周年事業の各企画では、「気軽にに行ける図書館のイメージをより多くの人に広めること」と、「一時的ではなく2回目以降の来館につながる仕掛けをすること」、「図書の貸出に繋がる仕掛けをすること」を各担当者が意識し取り組んだ。これによって今まで来たことがない人の来館につながっていると考えられる。8月

には初めて月間来館者数が1万人を超えた。平成30年度に培った職員の図書館運営力を平成31年度に更に発展・発揮し、より市民の役に立つ図書館を目指す。

点検・評価項目

青少年の健全育成

担 当 課

生涯学習課・学校教育課

**目 標**

青少年の心と体の健全な発展を促し、自主性・社会性を持った豊かな人間性を育むため、青少年の自立への支援、青少年を取り巻く有害環境対策の推進、自然体験活動の充実等により、青少年の健全な育成活動を推進する。

**事 務 事 業**

**1 家庭教育の充実**

**事業概要** 家庭や家族を取り巻く社会環境の著しい変化にともなう不登校やニート、引きこもりなど、様々な課題に対応するため、家庭教育機能の充実、相談体制の整備充実並びに家庭の教育力向上を図る。

**取組状況** 教育相談室事業（家庭教育相談・子育て相談・学校適応相談）の実施  
<相談延数> 496件（本室462件、分室34件）

**成 果** 学校生活、家庭生活又は社会生活において悩みをもつ児童・生徒及びその保護者に対して、その悩みや不安を受け止めるとともに、学校教育と連携しながら保護者に相談、助言を行った。

**2 家庭・学校・地域社会の連携強化**

**事業概要** 青少年の健全育成を推進するため、家庭・学校・地域社会・関係機関等の連携を強化し、地域ぐるみで活動の拡大を図る。

**取組状況** （1）地区青少年健全育成推進事業（11地区）の実施

補助金を交付し、地域の状況に応じた青少年の健全育成に役立てた。

（2）第41回青少年健全育成推進大会の実施

明るい家庭づくり作文と青少年スピーチコンテストの優秀作品の発表を行った。また、青少年健全育成功労者を表彰した。

参加者数      30年度      125人      29年度      128人

（3）明るい家庭づくり作文募集と文集発刊

児童生徒および保護者を対象に「明るい家庭づくり」作文を募集し、優秀賞、優良賞等を選考した。また、1月には作文集を作成し、関係者に配布した。

応募者数      30年度      1,126人      29年度      1,224人

（4）子ども情報誌「ぼっけえかさおか わんぱく宝箱」発刊（4回）

イベント情報や家庭教育の支援に関する情報誌を発刊した。

発行部数（1回当たり）30年度 5,175部 29年度 5,250部

(5) 第14回青少年スピーチコンテストの実施

子どもたちが論理的に物事を考える力や自分の主張を正しく伝える力を育み、学び合う機会となることを目的に中学生7名（日本語の部：5名、英語の部：2名）が約60人の聴衆の前でスピーチを発表し、それを表彰した。近年、小学生の参加が見込まれない状況であったこと、中学生の部には定員以上の募集があったことから小学生の部を廃止し、中学生の部の定数を増やした。

(6) たくましい笠岡っ子育成事業（市内全域5回）の実施

子ども自身が主体的に体験活動していく中で、たくましさを身につけていくことをねらいとして、小学校3年生から6年生を対象に、自然体験活動、社会体験活動を行った。6回中1回は台風により中止した。

参加者数 30年度 95人 28年度 147人

(7) 放課後子ども教室の開催（市内10教室）

前年度より1教室多い市内10か所において、小学生の居場所づくりのため、地域住民の参画のもと、放課後や週末を中心に体験活動、学習支援などの子ども教室を実施した。（笠岡東公民館、笠岡公民館、今井公民館、陶山公民館、大井公民館、大島公民館、神島外公民館、北木西公民館、NPO法人ハーモニーネット未来、番町コミュニティハウス）

(8) 地域学校協働本部事業の実施（市内11地区）

前年度より1地区多い市内11地区（5中学校、13小学校）において、地域住民や保護者等による学校支援ボランティアにより、校内環境整備、学習支援活動、安全指導支援活動等を実施した。（金浦中学校区、新吉中学校区、大島中学校区、北木島中学校区、小北中学校区、中央小学校区、神内小学校区、神島外浦小学校区、笠岡小学校区、北川小学校区、六島小学校区）

(9) 土曜日教育支援事業の実施（市内9教室）

市内9か所において、地域住民の参画により土曜日等における授業、課外授業支援や土曜学習等を実施した。（笠岡東公民館、笠岡公民館、今井公民館、金浦公民館、陶山公民館、大井公民館、大島公民館、神島公民館、NPO法人ハーモニーネット未来）

**成 果** 青少年を対象にしたイベントを企画運営することで、社会体験の場の提供や自主的な学習の支援を図ることができた。

地域学校協働本部事業・放課後子ども教室・土曜日教育支援では、家庭・

学校・地域が連携して、学校教育の支援や子どもたちの居場所づくりや安全安心の確保に努めた。地域住民が子どもや学校を核としたボランティア活動に参画することで、地域の絆づくりにも寄与した。

### 3 青少年団体の育成

**事業概要** 子ども会やスポーツ少年団等のグループ活動を奨励し、各種体験活動の機会を充実しながら、互いの連帯感やボランティア精神の醸成に努める。

**取組状況** (1) 笠岡子どもフェスティバルの開催

子どもが気軽に楽しめるレクリエーションを通じて、親子のふれあいや参加者の親睦を図った。また、ボランティアスタッフを募り、ボランティア精神を醸成した。コーナー内容や周知方法等の見直しを図り、参加者数の大幅な増加につながった。

親子参加者数      30年度 約4,900人      29年度 約2,200人

(2) 子ども会活動の促進への取組み

子どもフェスティバルや生涯学習フェスティバルでは、出展、展示、販売を実施し、生涯学習の推進に寄与するだけでなく、活動の普及啓発に努めた。また、育成者指導者研修会やたこづくり教室を開催し、親子のふれあいや参加者の親睦を図った。

単組子ども会の減少により笠岡市子ども会育成連絡協議会としての運営が困難になってきており、単独事業を企画するものの参加者が定数に満たさず中止せざるを得ないイベントがあった。

(3) 高校VY S活動への取組み

子どもフェスティバル、生涯学習フェスティバル、青少年スピーチコンテストなどの行事のサポートやカブトガニ保護啓発活動、リフレッシュ瀬戸内などの清掃活動を行った。また、資源回収報奨金により敬愛園に車イス1台と歩行器2台を寄贈した。

**成 果** 子どもフェスティバルでは、減少傾向にあった参加者数をレクリエーションやPR方法の改善により前年度から大幅に参加者数を増やすことができ、子ども達に様々な体験、親子のふれあいを提供することができた。また、中高生や一般市民がボランティアスタッフとして参画し、ボランティア精神の醸成を図ることができた。

高校VY S活動は、笠岡商業VY S部が廃部になったことに伴い、活動の維持が困難になってきているが、現部員が清掃活動や行事のサポートを通じて、高校間の交流やボランティア精神の醸成に取り組むことができた。市内の各高校に部員が作成したチラシを配布し入会を促したが、効果がみられないのが現状である。

#### 4 非行防止活動

**事業概要** 青少年の非行防止のため、家庭・学校・地域や関係機関等と連携して、補導・相談・環境浄化・啓発活動等に取り組み、青少年の健全育成と地域社会の意識向上を図る。

**取組状況** (1) 笠岡青少年育成センター（笠岡市及び里庄町青少年育成協議会）

- ・補導活動 H30 補導7人 注意125人 声かけ1,167人  
H29 補導24人 注意118人 声かけ1,004人
- ・相談活動 面接相談1件 電話相談0件 メール相談0件
- ・有害環境浄化活動（白ポスト6か所設置）  
本463冊 DVD440枚 ビデオ43本
- ・街頭キャンペーン 7月 西日本豪雨により中止  
11月 10団体35名
- ・研修会等の開催 「少年補導の現状と課題」
- ・学校との連携 「高等学校補導連絡会」「中学校生徒指導連絡協議会」

(2) 研修会等への参加

- ・岡山県補導（育成）関係者研修会（津山市） 15人
- ・笠岡育成センターの取組を实践発表した。

**成果** 家庭・学校・地域や関係機関等と連携して、補導・相談・啓発活動を展開することにより、青少年の健全育成、非行防止、安全確保の推進を図った。また、積極的な声かけ等により、非行防止に大きく寄与した。

#### **課題・方向性**

青少年健全育成事業では、各種イベントで子ども達の参加を促進することができたが、長年続いている事業であることから、内容がマンネリしている傾向があるため、現在の子供達への関心や興味、ニーズに合った内容に見直しを図りつつ、更なる参加者の増加につなげていきたい。今年度、スピーチコンテストでは近年の小学生の参加者が0~1人という現状から小学生の部を廃止し、中学生の部の定数を増やし募集した。しかし、関係者等から小学生の部はあるべきとの意見を多くいただいたこと、当日の参加者も減少したことから来年度には小学生の部を再度設けたいが、一定の参加者が確保できるよう、募集方法等の見直しを検討したい。

地域学校協働本部事業、放課後子ども教室、土曜日教育支援事業では、今年度を実施地区を増やすことができたが、まだ実施されていない地区に対し、本事業の主旨・メリット等を理解していただき、家庭・地域・学校が一体となって地域の子供達を見守る環境の整備を促進していきたい。

笠岡市子ども育成連絡協議会や高校VY Sにおいて、近年部員・会員数の減少しており、

ますます活動の維持が困難となってきた。活動内容の見直しや啓発活動だけではなく、各組織の在り方等も含めて検討しなければならない。

## **自己評価** B

各事業において、地域や社会教育関係団体の関係者、学校等との連携を図りつつ、内容を充実して実施することができ、参加者数も一定の確保ができた。特に子どもフェスティバルでは、コーナー内容、周知方法等の改善を図った結果、前年度比で2倍以上の親子が参加し、近年では最大の盛り上がりを見せ、多くの子ども達へ遊び、学びの体験を提供することができた。また、中高生、一般市民のボランティアも例年よりは少なかったが、多くの参加があり、様々な立場の関係者が一体となって大会を運営することができた。

非行防止活動においても、家庭・地域・学校・行政の連携強化を図ることでより活発的な活動を実施することができ、青少年の健全育成に大きく寄与することができた。



点検・評価項目

人権教育・啓発の推進

担当課

学校教育課・生涯学習課

目 標

笠岡市人権尊重の都市づくり条例や笠岡市人権施策基本方針に基づき、すべての人々の人権が真に尊重される社会の実現を目指し、家庭・地域・職場等、あらゆる日常生活の場において人権尊重の精神が態度や行動に表れるような人づくりを推進する。推進に当たっては、指導者の資質と指導力の向上に努めるとともに、多様な学習機会を確保する。また、人権問題に起因する教育上の課題を克服するための支援に努める。

事 務 事 業

### 1 教育・啓発活動の推進

**事業概要** 同和問題をはじめとする様々な人権課題について、主体的に解決に取り組む実践的態度を養うため「知的理解の深化と人権感覚の育成」「自立支援」「人権を尊重する環境づくり」を中心に各活動を実施する。

**取組状況** (1) 地域公民館人権啓発事業  
(2) P T A人権教育推進事業（幼稚園，小・中学校P T A）  
(3) 笠岡市教育集会所事業（自立促進，交流活動，相談事業等）  
(4) 人権教育自立促進事業  
(5) 子ども会活動への支援  
(6) 社会教育諸団体等での研修（婦人協議会，女性学級，幼児学級等）  
(7) 行政職員各種研修  
(8) 笠岡市内企業・事業所等人権教育研修  
(9) 多様な啓発活動（個別の人権問題についての啓発）  
(10) 笠岡市人権教育講演会，笠岡市人権問題講演会  
(11) 第 31 回笠岡市人権文化祭

**成 果** 第 32 回笠岡市人権文化祭に，1 日目に猿まわし芸人「村崎修二・村崎耕平」による猿まわしを行い，820 名の参加があった。また，2 日目には柳 淳也（にじいろらいと代表）による人権講演会を行い，875 名の参加があった。

2 日間の来場者は 1,695 名で，昨年度より若干増加した。

### 2 人権教育推進組織の活性化

**事業概要** 人権教育を推進するために，各委員会を設置し，同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決に向けて，研修等を行う。

**取組状況** (1) 笠岡市人権施策推進委員会

- (2) 笠岡市人権教育推進委員会
- (3) 笠岡市教育集会所運営委員会
- (4) 笠岡市企業等人権問題連絡協議会
- (5) 第32回笠岡市人権文化祭実行委員会

**成 果** 第32回笠岡市人権文化祭実行委員会では、人権文化祭の実施のために、企画・運営に取り組み、人権啓発に努めた。

### 3 指導者の養成

**事業概要** 人権担当者等の研修を行う。

- 取組状況**
- (1) 行政職員人権問題指導者講座
  - (2) 各種団体指導者研修
  - (3) 笠岡市人権啓発バンク

**成 果** 行政職員人権問題指導者講座では、国や市の人権施策についての研修や人権啓発ビデオを視聴し、様々な人権問題についての理解を深めた。

#### **課題・方向性**

人権問題を一人ひとりの問題として捉え、人権意識の高揚を図るためには、研修や啓発において、市民が理解しやすい内容にすることに努めていく必要がある。

#### **自己評価 B**

様々な人権問題の解決について、人権教育推進事業を行い、学校・社会・地域での人権教育の推進を図ったが、参加者を増やすために内容の検討や呼びかけの仕方等さらに工夫して行く必要がある。また、人権啓発事業等では、高齢者、三世代交流、「命の大切さ」を学ぶ講演会など、様々な問題が取り上げられており、新たな課題とともに身の回りにある問題などを取り上げ、工夫していくことで人権感覚の育成を図っていきたい。

## 《 創造性を育む文化の振興と文化財の保護・活用 》

点検・評価項目	芸術文化活動の普及・振興
担 当 課	生涯学習課

**目 標** 市民参加による幅広い文化活動と文化施設の活用を促進し、文化を担う人づくりを推進する。

### 事 務 事 業

#### 1 芸術文化活動の普及・振興

**事業概要** 芸術文化活動への積極的な参加を奨励するとともに、心豊かな文化意識の高揚を図る。

#### 取組状況

事業名	平成 30 年度	平成 29 年度
能・狂言体験学習（実施学校数）	6校	7校
名月観賞の夕べ（来場者数）	13会派 440人	12会派 320人
笠岡市菊花展（出品数） （来場者数）	250鉢 1,900人	250鉢 1,900人
笠岡市芸能祭（来場者数）	16会派 400人	16会派 350人
笠岡市文化祭（出品数） （来場者数）	372点 1,900人	427点 1,900人
笠岡市児童・生徒美術展（出品数） （来場者数）	528点 2,330人	514点 2,100人
笠岡市さつき新緑展（出品数） （来場者数）	104鉢 397人	101鉢 445人
笠岡市写真展（出品数） （来場者数）	132点 413人	127点 435人
笠岡市美術展（出品数） （来場者数）	152点 2,560人	174点 2,400人
森田思軒顕彰講演会（来場者数）	50人	45人
木山捷平没後50周年リレー講演会（来場者数）	150人	
笠岡市立カブトガニ博物館（入館者数） 特別展示・特別陳列（入館者数） 内訳 「石になった魚たち ～The World of Fossil Fishes～」展	62,846人 (29,914人) 16,462人	64,284人 (29,906人)

「きみはエビ派？カニ派？エビ・カニ展」	13,452人	
笠岡市立竹喬美術館（入館者数） 特別展「創立100周年記念国画創作協会の全貌」展（入館者数） 特別展「幽玄なる世界－吉野石膏日本画コレクション」展（入館者数） 特別展「幸野楳嶺が伝えたこと」（入館者数）	14,842人 (3,057人) (4,374人) (1,617人)	11,738人
笠岡市井笠鉄道記念館（入館者数）	3,073人	3,798人

( )は内数

**成 果** 笠岡市文化祭をはじめとする文化行事を実施し、また小中学校では能・狂言の体験学習により児童・生徒の伝統芸能への関心や理解を深めるなど、多数の市民参加による文化の振興を行った。

木山捷平没後50周年を記念する事業を実施し、笠岡市を代表する文学者を顕彰した。

カブトガニ博物館においては、特別展示「石になった魚たち～The World of Fossil Fishes」展、そして、特別陳列「きみはエビ派？カニ派？エビ・カニ」展を開催することで年間の入館者数の増加に努めた。

竹喬美術館では「創立100周年記念国画創作協会の全貌」展を開催し、全国的な注目を受け好評を博し、美術館連絡協議会が全国の展覧会の中から選定して授与する美連協大賞「奨励賞」を受賞した。また、寄託先の山形県以外では初公開となる「吉野石膏日本画コレクション」では、これまで当館で紹介してきた近代京都画壇のみならず、時代的・地域的に視野を広げたことで注目された。

## 2 文化施設及び文化環境の整備

**事業概要** 文化活動の拠点となる文化施設の整備及び機能の充実と連携を図り、活力ある文化環境の整備を図る。

### 取組状況

事業内容	平成30年度	平成29年度
屋根雨漏り修繕・公園内遊具修繕・恐竜修繕 公園内整備工事・鯉展示コーナー更新工事 魚類骨格化石レプリカ	15,992千円	9,796千円

**成 果** カブトガニ博物館では、公園内の各種整備工事や博物館の雨漏り修繕及び恐竜（ティラノサウルス）の修繕を行った。また、老朽化していた鯉展示コーナーを更新、また新規に魚類骨格化石レプリカを購入し、博物館の展示物の充実を図った。

### 3 笠岡市文化・スポーツ振興財団との連携

**事業概要** 公益財団法人笠岡市文化・スポーツ振興財団と連携を密にし、財団と一体になって地域文化の振興を図る。

#### 取組状況

項目	平成 30 年度	平成 29 年度
笠岡市木山捷平文学選奨（応募者数）		
短編小説部門	276 人	195 人
詩・短歌・俳句・川柳 小中学生の部	2,997 人	2,977 人
詩・短歌・俳句・川柳・随筆 一般の部	140 人	133 人
優秀映画鑑賞会（参加者数）	46 人	55 人
文化活動後援事業（後援件数）	103 件	110 件
文化活動賞揚事業（賞揚件数）	6 件 12 人	14 件 18 人
民俗芸能支援事業（補助金）	北木島の石切り唄の活動支援	

**成 果** 笠岡市木山捷平文学選奨は第 14 回となり、全国公募の短編小説は 42 都道府県から 276 作品（前年+81 作品）、他部門は 3,137 人（前年+27 人）で、木山捷平及び笠岡市を全国に発信することができた。

また、優秀映画鑑賞会、文化活動の後援、全国大会・中国大会出場者への賞揚、伝統文化の活動支援を実施し、地域文化の高揚を図った。

#### 課題・方向性

芸術文化活動は、担い手の固定化が見られるため、市民が芸術文化に触れる機会をさらに増やすとともに、広報活動にも力を入れる。

民俗芸能支援事業は今後も継続し、市内の伝統文化振興の一助としたい。

文化施設の改修や充実は、これからも計画的に行い、施設の維持及び展示品の充実を図っていく必要がある。

笠岡市木山捷平文学選奨事業については多くの方に応募していただけるよう引き続き文芸誌・雑誌への広告掲載を行うとともに、高校生の応募者数をさらに増やすため、引き続き高校訪問等による協力依頼を行う。

## 自己評価 A

芸術文化活動については、小中学校で能・狂言の体験学習を実施し、伝統芸能への関心や理解を深めることができた。

カブトガニ博物館、竹喬美術館などの施設については、それぞれの館の役割を認識し、文化活動の拠点となる文化施設としての環境整備に努めている。

井笠鉄道記念館は、3年にわたる車両の保存修理作業がおおむね完了した。往時の姿を取り戻した機関車、客車、貨車は、多くの鉄道ファンを喜ばせている。

笠岡市木山捷平文学選奨の応募者数は年ごとに増減が見られるが、短編小説賞の応募者は全国的な広がりを見せている。

民俗芸能支援事業は、地域への愛着、郷土愛を育み、地域を愛する子どもを育成することができた。また、団体への支援により、市内の伝統文化の振興を図ることができた。

**点検・評価項目****文化財の保護・保存と継承****担 当 課**

生涯学習課

**目 標**

文化財の保護・保存と継承を図るため文化財を調査研究し、保存管理に努める。また、民俗、考古、歴史資料の収集に努め、適切な保護・保存と公開展示に努める。

**事 務 事 業****1 文化財の保護・保存と継承****事業概要** (1) 文化財の保護事業

先人から受け継いだ歴史と伝統を守り、後世に伝えるとともに、それを大切に思う風土を育む。そのために、優れた文化財の保護・保存を図る。また、急激な変化や消滅の危機にさらされた文化財を調査し、適切な記録・保存を図る。

## (2) カブトガニの保護・増殖事業

笠岡を代表する天然記念物「カブトガニ繁殖地」を維持するために、カブトガニの増殖と繁殖地の保護・啓発活動に取り組む。

## (3) 文化財の活用事業

郷土館や長福寺裏山古墳群、井笠鉄道記念館などの文化財関連施設を管理するとともに、文化財を活用し保護意識の高揚を図る。

**取組状況** (1) 文化財の保護事業

史跡「津雲貝塚」保護のための調査事業として、縄文土器付着物の年代測定等を実施した。また、笠岡市出身の文学者を顕彰するため、木山捷平生家の寄附を受け、保存管理を開始した。

## (2) カブトガニの保護・増殖事業

5月から8月にかけてカブトガニの幼生を15,943匹放流した。また、干潟の荒廃を防ぐため、潮干狩り等の自粛を訴える監視活動を行った。カブトガニ産卵調査で16箇所の産卵を確認し、生体調査では373匹の幼生を確認した。

## (3) 文化財の活用事業

笠岡市の歴史文化遺産の保存・活用方針を定める「笠岡市歴史文化基本構想」策定を完了した。(策定期間：平成28～30年度) また、「石の島」をテーマに、丸亀市、土庄町、小豆島町と連携し、日本遺産の認定申請を行った。さらに、文化財めぐりハンドブックを活用して市内小学生と保護者を対象とする文化財ラリー「笠岡へもっと愛着を持ち隊」を実施した。結果として89枚の文化財レポートが集まった。

**成 果** 津雲貝塚の保存に向けて、遺物の年代や縄文人の食生活の実態を解明することができた。また、文化財保護・活用のマスタープランである歴史文化基本構想を策定することができた。さらに、文化財ラリー企画によって、小学生と保護者に郷土の文化財について関心を持ってもらうことで、郷土への愛着を涵養することができた。

カブトガニ繁殖地周辺においては、平成 21 年度から 10 年連続してカブトガニの自然産卵を確認することができた。また、福山大学との共同調査は平成 26 年から引き続き継続している。幼生放流と合わせて保護したカブトガニの成体放流行事を行うことができ、カブトガニと繁殖地の保護の成果が現れている。

## 2 文化財資料の収集・整理

**事業概要** 笠岡市に関する文化遺産を収集・整理し、後世に伝える。また、その成果を郷土館等で展示し、市民に還元する。

**取組状況** 歴史資料、古文書等の寄贈が 9 件あった。受納資料は順次整理した。

**成 果** 貴重な資料の寄贈・寄託を受け入れることで、歴史上価値ある文化財を保護することができた。

### 課題・方向性

津雲貝塚調査事業は、事業期間を 1 年延長し、残り 1 カ年で調査成果をまとめることとなっており、引き続き多大な労力を裂く必要がある。発掘調査と活用事業との両立が課題となっている。また、今後は歴史文化基本構想に基づき、計画的に業務を実施することが必要である。木山捷平生家については、維持管理の体制を整えていくことが必要である。

カブトガニ保護・増殖のために、潮干狩りの自粛を訴える監視活動を継続的に行うとともに、カブトガニ保護啓発運動や海岸清掃活動を通して、市民ぐるみで笠岡の海の環境保護に努める必要がある。

### 自己評価 A

文化財の保護・保存と継承を図るため、引き続き史跡「津雲貝塚」の保存に向けて、調査を継続した。また、歴史・文化のマスタープランとなる歴史文化基本構想の策定により、文化財の保存・活用について大きな方向性を示すことができた。

カブトガニ繁殖地周辺において、10 年連続してカブトガニの自然産卵を確認することができるなど、確実に保護活動が実を結びつつある。今後も、カブトガニの保護・啓発を通して天然記念物「カブトガニ繁殖地」の保護並びに海の環境保護意識の高揚に努めたい。



## 《 豊かな生涯スポーツの推進と競技レベルの向上 》

点検・評価項目	生涯スポーツの推進
担 当 課	スポーツ推進課

**目 標** 健康で生きがいを持った生活を送るための生涯スポーツ実施者の増加を図る。

### 事 務 事 業

#### 1 各種スポーツ教室・大会の開催，地域スポーツ団体の支援・育成

**事業概要** 初心者を対象としたスポーツ教室や誰でも参加できるニュースポーツ大会等を開催して，生涯スポーツの推進を図る。

#### 取組状況 (1) 各種教室・大会の開催

教 室	対 象	平成 30 年度	平成 29 年度
バスケットボール教室	小学生	219 人	147 人
陸上競技教室	小学 4 年生 ～ 6 年生	112 人	163 人
レスリング教室(マット教室)	小・中学生	62 人	143 人
軟式野球教室	小学生	73 人	100 人
サッカー教室	4, 5 歳児	65 人	－ 人
テニス教室	18 歳以上	48 人	－ 人
卓球教室	18 歳以上	47 人	－ 人
バドミントン教室	小 4 以上	121 人	68 人
卓球教室	小 4 以上	124 人	46 人
テニス教室	高校生以上	104 人	95 人
ソフトテニス教室	小学生	112 人	151 人
ソフトバレー教室	中学生以上	－ 人	108 人
親子水泳教室	4 歳～小学 3 年 生までの子ども と保護者	68 人	66 人
プロテニスレッスン (講師：本村剛一)	小学生以上	－ 人	59 人
かけっこ教室 (講師：坂本直子)	小学生	72 人	92 人
野球教室 (講師：川相昌弘)	中学生	70 人	－ 人
卓球技術講習会 (講師：李一鳴)	小・中学生，高 校生，指導者	86 人	－ 人

バレーボール教室 (講師：岡山シーガルズ)	中学生	20人	－人
シャフルボード講習会	制限なし	50人	61人
幼児スポーツ教室	幼児・園児	340人	430人
オリエンテーリング大会	制限なし	200人	173人
ニュースポーツ大会 (シャフルボード)	小学生以上	98人	132人

(2) 地域スポーツ団体の支援・育成

団 体	平成 30 年度	平成 29 年度
スポーツ少年団	366人 (14 団)	353人 (14 団)
総合型スポーツクラブ	146人 (2 団体)	182人 (2 団体)

**成 果** 平成 29 年度に比べて、幼児を対象としたサッカー教室，成人を対象としたテニス教室や卓球教室と種目を増やして開催した。また，トップアスリート教室として新たに野球教室，卓球技術講習会，バレーボール教室を開催し，小中高校生やその指導者に対して一流選手のプレーを身近に感じてもらい，笠岡市スポーツの底辺拡大・技術力向上を図ることができた。

## 2 スポーツ推進委員活動の充実

**事業概要** 研修により市民のスポーツリーダーであるスポーツ推進委員の資質を向上させるとともに，スポーツ推進委員が地域に出向いてニュースポーツ等の指導を行い，生涯スポーツの推進を図る。

### 取組状況 (1) スポーツ推進委員の研修会開催

事 業	平成 30 年度	平成 29 年度
生涯スポーツ推進企画会議	7 回	7 回
実技研修会開催 H29 ハキサロン・ふらばーるバレーボール・カーリング H30 カーリング・キンボール・パタンク	3 回	3 回

### (2) スポーツ推進委員派遣事業の拡大

事 業	平成 30 年度	平成 29 年度
地域派遣推進事業	48 回 189 人	46 回 155 人

**成 果** 生涯スポーツ推進企画会議を7回、実技研修会を3回行い、市民に対して実技の指導や助言を行った。また、全国・中国・県内の研修会へ積極的に参加し、専門的知識と指導力の向上を図った。

スポーツ推進委員を地域に派遣し、子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象とした、健康体操やニュースポーツなどのスポーツ・レクリエーションを推進した。近年は、いきいきサロンなど高齢者が激しい運動をすることなく、健康を維持できる体操やゲームなどの需要が高くなっている。また、3年ぶりに新体力テストを開催し市民の体力測定を行った。

### 3 スポーツ情報の提供

**事業概要** スポーツに関わる機会の提供を行うため、スポーツカレンダーの作成、市広報、ホームページを利用して、スポーツ団体、スポーツイベントの情報を発信する。

#### 取組状況 (1) スポーツイベント情報の提供

広報、新聞、テレビなどのメディアを使ってスポーツイベントの情報提供を行った。また、スポーツカレンダーを作成し、体育施設や公民館に配布するとともに、笠岡市のホームページへの掲載を行った。

#### (2) スポーツ団体情報の提供

市内で活動するスポーツ団体から収集した情報を情報誌「笠岡市スポーツサークル」にまとめて体育施設や公民館に配布するとともに、笠岡市のホームページへ掲載した。

**成 果** 様々な情報提供の形態を確立し、多くの人へのスポーツ情報の提供が可能となった。多くの手法により市民がスポーツ情報を入手しやすくなった。

#### **課題・方向性**

平成30年度に実施した「運動・スポーツに関する調査」結果では、週1回以上運動やスポーツを行う人の割合は42.2%となっており、国の目標値である65%に達していませんが、その割合は増加しており、改善傾向にある。

しかしながら、20歳代から50歳代までの週1回以上のスポーツ実施率は、20%台前半から半ばとなっており、仕事等でスポーツに費やす時間を取りにくくなっていると考えられる。これら現役世代が、運動やスポーツに親しむ習慣の普及のための環境整備や意識啓発が必要となっている。

このような状況から、生涯にわたりスポーツ活動が実践でき、気軽に参加できる、大会・行事・イベントの情報を提供するため、チラシやHP、SNS等を活用し伝達率を上げる必要がある。また、新体力テストの実施を継続し、市民一人ひとりが、自己の体力年齢を知ることによって、健康寿命の延伸につなげていく。

今後は、平成31年3月に策定した「第2次笠岡市スポーツ推進基本計画」をもとに、市民へのスポーツの振興を図っていく。

#### **自己評価 B**

スポーツ教室については、一定期間実施したものについては見直しを行い、新たな種目についても検討する。特に障がい者スポーツの競技について、新たに取り組む必要がある。

また、スポーツ推進委員の地域派遣については、競技人口の拡大のためさらに積極的な派遣を行う必要がある。

**点検・評価項目** スポーツ・レクリエーション施設の  
整備・充実と活用

**担当課** スポーツ推進課

**目標** いつでも・どこでも・だれでも快適にスポーツが行える環境を整える。

### 事務事業

#### 1 施設整備及び充実

**事業概要** 老朽化した施設設備の更新等を行うことにより利用者の安全性の確保や利便性の向上を図る。

**取組状況**

事業名	事業費
総合体育館メインアリーナ照明改修工事	22,564 千円
総合体育館メイン・サブアリーナ床改修工事	9,072 千円

**成果** 総合体育館メインアリーナ照明改修工事，総合体育館メイン・サブアリーナ床改修工事を行い利用者が快適な環境でスポーツを楽しむこと繋がった。

#### 2 利用しやすい環境の整備

**事業概要** 老朽化した施設や設備の修繕，利用者から要望が出ている事項の改善を行い，快適なスポーツ環境の整備に努める。

**取組状況**

事業名	事業費
B&G 海洋センター時計台撤去工事	92 千円
B&G 海洋センタープール ポンプ取替工事	384 千円
陸上競技場フェンス取替工事	195 千円
大井グラウンドブロック塀改修工事	314 千円
大井グラウンド門扉修繕	77 千円

**成果** 倒壊の恐れがあった時計台を撤去するなど，利用者が快適かつ安心して施設を利用できるようになった。

### 課題・方向性

どの施設も老朽化が進んでおり，また，利便性の向上を図るべき施設も多い。新しい競技への改修の検討も含め，今後も計画的に整備を行う必要がある。

### 自己評価 A

大規模改修施設について，長寿命化対策を図りながら，安全で快適な施設を維持していくため，今後も計画的に整備を実施する。

点検・評価項目

競技スポーツの推進

担 当 課

スポーツ推進課

目 標

競技スポーツ人口の増加と競技力の向上を図る。

事 務 事 業

### 1 各種スポーツ大会の開催（主催）

**事業概要** 練習の目標として、練習の成果確認の場として、あるいは選手相互の研さんの場とするために各種スポーツ大会を開催する。

**取組状況** スポーツ大会の開催

大 会 名	平成 30 年度	平成 29 年度
笠岡市民体育大会	1,596 人	1,464 人
べいふあーむ笠岡マラソン大会	2,223 人	2,342 人
カブトガニ駅伝大会	358 人	481 人
子どもソフトボール大会	8 チーム	7 チーム
青少年柔剣道大会	78 人	69 人
バドミントン大会	144 人	136 人

**成 果** 笠岡市スポーツ協会と共同開催により、各種大会を継続して行った。毎年多数の参加者により開催できている。

### 2 競技会等の支援

**事業概要** 競技レベルを向上させる為に実業団やプロスポーツ選手の招へいや大会の支援を行う。

**取組状況**

競 技 会 名	平成 30 年度	平成 29 年度
べいふあーむ駅伝大会	23 チーム	19 チーム
第 1 回山陽ダービー（岡山シーガルズ）	2 チーム	—

**成 果** 第 1 回山陽ダービーでは、岡山シーガルズおよびヴィクトリーナ姫路によるチャリティーマッチを誘致することで、市民のスポーツへの関心を高めた。また、べいふあーむ駅伝(実業団)では、全国レベルの実業団駅伝を継続的に笠岡市で行うことで、競技者及び指導者のレベルの向上に繋がっ

ている。

### 3 スポーツ指導者の養成，トレーナースタッフの確保

**事業概要** 全国大会等への出場を促進するため，高度な専門的知識と指導力をもつ指導者の養成と選手のコンディション維持を図るため，トレーニング指導や技術指導を行う機会を提供する。

#### 取組状況

##### ① スポーツ推進委員協議会

日 時	開 催 名
H30. 6. 16～17	中国地区スポーツ推進委員研修会
H30. 7. 28	岡山県生涯スポーツ研究大会
H30. 11. 15～16	全国スポーツ推進委員研究協議会
H30. 11. 17 12. 1	岡山県スポーツ推進委員協議会

##### ② スポーツ少年団指導者協議会

日 時	開 催 名
H30. 9. 1～2	スポーツ少年団認定員養成講習会 3名

##### ③ シーガールズ強化合宿

日 時	開 催 名
H30. 12. 26～30	高等学校及び中学校 強化合宿 15校

**成 果** 各セクション別の指導者養成講習会等への参加及びアスリート選手からの指導の場を設け，指導者及び選手の技術の向上を図った。

### 4 優秀選手の表彰

**事業概要** 公益財団法人笠岡市文化・スポーツ振興財団と中国大会や全国大会，世界大会に出場する選手・団体に賞揚金を交付するとともに，全国大会以上の大会に出場の場合は激励会を開催する。また，県大会優勝・中国大会優勝・全国大会3位以内・世界大会入賞された選手には特別賞を贈呈する。

#### 取組状況

<中国大会・全国大会等優秀選手の賞揚>

平成30年度 9団体 191人 平成29年度 8団体 198人

<スポーツ特別賞>

平成30年度 5団体 39人 平成29年度 5団体 92人

内訳	件数	人数	備 考
世界大会	件 個人 6	人 個人 6	ベンチプレス, 空手道, ペタンク, BMX, パラスノーボード
全国大会	個人 5 7 団体 5 計 7 2	個人 6 7 団体 3 1 計 9 8	ウエイトリフティング, サッカー, レスリング, 軟式野球, サッカー, テニス, 陸上, ダンスド リル, 柔道, 剣道, バドミントン, ソフトテニ ス, 卓球, ソフトボール, 吹矢, ペタンク, バ レーボール, 新体操, 駅伝
中国大会	個人 3 2 団体 4 計 3 6	個人 4 4 団体 4 3 計 8 7	ウエイトリフティング, サッカー, 軟式野球, 陸上, レスリング, 卓球, ゴルフ, 剣道, テニ ス, 水泳, 空手道, バレーボール, 駅伝, バド ミントン, ソフトバレー
合 計	個人 9 5 団体 9 計 1 0 4	個人 1 1 7 団体 7 4 計 1 9 1	

**成 果** 賞揚を受けた選手自身のレベルアップと意欲の高揚となるとともに、  
周辺関係者への刺激ともなり、競技スポーツの推進につながった。

## 5 笠岡市文化・スポーツ振興財団、笠岡市スポーツ協会等との連携

**事業概要** 笠岡市文化・スポーツ振興財団、笠岡市スポーツ協会などと連携して各  
種大会、選手等の賞揚を行い、より広くスポーツ推進を展開する。

### 取組状況

- (1) 各種スポーツ大会の運営委託
- (2) 各種スポーツ大会の共催・後援等

	大会名	参加人数
1	第2回オタフクジュニアテニス大会	120
2	第9回カブトガニ杯グラウンド・ゴルフ交歓大会	900
3	2018JBMXF シリーズ第1戦/西日本第1戦岡山大会	125
4	第29回笠岡市グラウンド・ゴルフ協会 会長杯	200
5	キッズテニスで遊ぼう！	45
6	第23回笠岡市ソフトバレーボール交流大会	250
7	第25回ワコースポーツ・文化振興財団杯ペタンク大会	60
8	第20回ソフトバレーボール夏季交流大会（第6回他県交流大会）	250
9	浅口市長杯 金光ボーイズ20周年記念大会	800



10	3Bのつどい in 笠岡	200
11	第1回笠岡べいふあーむ杯グラウンド・ゴルフ交歓大会	200
12	第12回笠岡ロータリークラブ杯サッカー大会	1000
13	2018年テニスの日のイベント	80
14	JFAレディース/ガールズサッカーフェスティバル2018	137
15	ファミリーウォーキング大会 in 笠岡湾干拓2018	1,000
16	平成30年度第26回岡山県少年少女レスリング選手権大会	80
17	第3回ミズノ杯グラウンド・ゴルフ交歓大会	200
18	OHK杯第33回岡山県ミニバスケットボール選手権大会	1,500
19	第1回笠岡コスモス杯グラウンド・ゴルフ交歓大会	200
20	第30回笠岡市グラウンド・ゴルフ協会結成記念杯 グラウンド・ゴルフ交歓大会	200
21	第24回笠岡市文化・スポーツ振興財団杯ペタンク大会	36
22	平成30年度岡山県高等学校野球1年生大会	—
23	第7回市長杯グラウンド・ゴルフ交歓大会	186
24	第6回中国四国地区少年剣道練成大会	1600
25	キッズサッカーフェスティバル	100
26	第26回笠岡市文化・スポーツ振興財団杯 グラウンド・ゴルフ交歓大会	200
27	第30回笠岡市教育委員会杯グラウンド・ゴルフ交歓大会	180
28	第3回おかやまスポーツフェスティバル	—
29	第23回笠岡市近隣ソフトバレーボール大会	290
30	キッズテニスで遊ぼう！	56
31	笠岡市文化スポーツ振興財団杯 第33回笠岡市サッカーフェスティバル	640

(3) 全国大会出場者(団体)激励会の開催

(4) 全国大会等功績者の特別表彰

**成 果** 笠岡市文化・スポーツ振興財団、笠岡市スポーツ協会等と連携する事により多様な大会を開催し、広くスポーツ推進を展開した。また、多くのスポーツ功労者の賞揚ができ、選手の支援や競技スポーツの振興に寄与した。

### **課題・方向性**

関係団体とさらに連携を密にし、選手への支援、スポーツ指導者の養成、大会の開催・誘致に取り組み、競技スポーツの推進を図る必要がある。

### **自己評価** B

多種多様なスポーツ大会実施の後押しや優秀選手等を賞揚することにより、スポーツに対する市民意識をさらに高めることができた。今後競技力の向上に向けた取り組みをさらに進める必要がある。

### Ⅲ 評価委員の総合評価

丹 生 裕 一 委 員

「平成 30 年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」には、教育委員会の運営状況、教育委員会が管理執行する事務の内容の他に、教育行政の基本理念を支える四つの基本方針に沿った 13 の基本政策の遂行における個別施策毎の具体的な成果が示され、基本施策毎に課題・方向性と自己評価が明示されている。これを見ると、笠岡市教育委員会の事務管理・執行状況は、多くの基本施策において少しずつ確実な成果を上げていることを確認することができ、総合的に見て目標は「おおむね達成された」と評価することができる。

続いて、一層の教育行政成果を期待し、今後の主要な課題・改善点を指摘する。

1 「自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進」について、教育委員会や学校が様々な取り組みを意欲的に継続している。しかしながら、家庭学習を含む主体的に学ぶ態度の育成自己肯定感や自己有用感を高めるための取り組みをさらに工夫する必要がある。2 年間の指定を受けた北川小学校における実践研究の成果に期待したい。一方で、教職員の研修会等への自主的、積極的参加の勢いが弱いという課題が評価委員会議において浮上した。笠岡市の教育現場において、児童・生徒とそれを指導する教職員が同様の課題を有していることになる。これらの課題の解決は、相乗効果を生むように進められる必要がある。教職員のそれぞれが各自の強みを活かす場を設けたり、それらの努力やよさを認めて称揚したりする継続可能な制度を工夫してもらいたい。このことは、新学習指導要領に示された「資質・能力の三つの柱」のうちの「学びに向かう力・人間性等」の育成という新しい重要なテーマである。

また、学校教育体制の整備について、私が運営協議委員会を務めている金浦中学校に限らず、どこの学校現場にとっても「働き方改革」の推進と授業の時数や質の確保との両立は切実な課題となっており、現場の自主努力だけではその解決は困難のように見受けられる。教育委員会とそれぞれの学校とが連携して思い切った解決策を見出す必要性を感じている。

2 「心豊かな生きがいを育む生涯学習の推進」について、様々な学習機会を提供し、市民の学習意欲を喚起する取り組みが徐々に成果をあげているようである。今後、特に重点を置いて取り組んでもらいたいことの一つに「ブックスタート事業」がある。乳児期から幼児期にかけて行われる保護者による絵本の読み聞かせは、全ての保護者がすぐに参加できる取り組みであり、その教育効果は絶大であることが多くの研究で証明されている。1 歳児を持つ保護者に無償で本を配布するだけでなく、それぞれの家庭において、日常的に子供に読み聞かせを行う習慣を促す具体的な取り組みを検討してほしい。

3 「創造性を育む文化の振興と文化財の保護・活用」については、芸術・創作作品の様々な展示会への参加者は、豪雨の影響もあり増減にばらつきがあるものの、その内容は工夫され充実が見られる。特に、カブトガニを含む文化財の保護については大きな流れができつつある。その中であって、「木山捷平文学選奨」も他郡市にはない全国公募の優れた取り

組みであるが、岡山県内における知名度がやや物足りなく感じている。公募を含む広報のあり方の再検討をお願いしたい。

4 「豊かな生涯スポーツの推進と競技レベルの向上」については、市民が運動やスポーツに親しむ習慣の普及が課題であり、そのためにスポーツ推進委員の質の向上と地域への派遣の必要性が明記されている。その一環として、スポーツ推進委員の各中学校の部活動への派遣は考えられないだろうか。その実現のためには多くの課題があるだろうが、資格や専門性を持たない教員による指導、教員多忙による子供任せの活動、学校現場の「働き方改革」にかかる課題（本報告書「1」に示した）等の課題解決の一助とする可能性について検討をお願いしたい。

## 大 島 英 久 委 員

### 1 教育委員会の運営状況

- (1) 教育委員会の会議の運営  
円滑な運営がなされている。
- (2) 教育委員会の活動  
市長との意見交換では小学校と中学校の校長会会長や、高等学校の校長も同席してはどうかか。
- (3) 教育委員の研修等  
小中一貫の視察に重点をおき、一貫教育を早急に進めてはどうかかと思う。
- (4) 学校及び教育施設への支援  
授業や行事のみならずあらゆる機会を活用して、その学校や施設の情報を得ている。教育委員の負担は気になるが、開かれた学校作り推進のためにも、通りすがりに訪問する機会を増やすなどのことも視野に入れていただきたい。

### 2 教育委員会が管理・執行する事務

- (1) 教育行政の運営に関する基本方針  
笠岡市教育振興基本方針を基に「人間尊重を基調に、生きる力を身につけた心豊かな人づくり」を基本理念とし、学校教育、生涯教育、文化、スポーツを柱として、網羅的に基本政策が定められている。
- (2) 規則等の改廃  
規則等の改廃については、適宜的確に行われている。
- (3) 教育関係予算  
学校現場を見ると、良い環境と言にくい状況があるので、一層の努力をお願いしたい。
- (4) 教育委員会の所管に属する学校、その他の教育機関の設置又は廃止  
特にありません。
- (5) 職員の任免に関すること  
岡山県の最も西に位置し、他地区との交流が困難な状況があり、人事異動については閉鎖的ともいえる状況にならざるを得ないと思われる。また、生徒数と比較して学校数が多いことから、市内での異動のみで刷新してきた歴史が長く、教職員が刺激を受けずに、長期の勤務をして来たとも推測できる。そのため、新しいことにチャレンジする精神に欠け、過去を踏襲していく意識が強いベテラン教師が多いようにも感じる。県も幅広い交流を進める方針なので、よりダイナミックな人事交流を図っていただき、将来性のある教師を他市へ派遣し、他市からも新たな風を吹き込む、特徴のある教師を獲得していただきたい。そのためには、笠岡市に来たいと思う教育実践が大切で、その基盤となる特色ある教育の更なる推進が望まれる。また、教職員にとって「行きたい学校」になるには、教育実践のみならず、働き方や報酬、通勤のし易さや住居の問題も、大きなウエイトを占めると思われるので、笠岡市全体の問題として捉えていただきたい。
- (6) 教科用図書採択の決定に関する事及び(7) 法令等で定められた諮問機関の委員の委嘱  
法令に沿って適切になされている。
- (8) 市重要文化財の指定及び解除及び(9) 教育委員会の点検評価報告書の作成  
特にありません。

### 3 教育行政基本方針・基本施策

#### ○ 自立した子どもの育成

##### 1 確かな学力を身に付けるための教育内容・方法の充実

調査結果については数値だけでなく、その数値がどこから来るのか、幅広い視野で原因を協議し、授業だけの問題として捉えず、子どもたちの育ちや環境にも目を向けていただきたい。そうすると、調査の結果は学校教育を中心とした、地域の教育力や家庭の経済力の影響が大きいことが見えて来る。家庭学習の充実のために、家庭学習の手引きが作成されている事は評価できる。大切な意欲の醸成についても、積極的に意見交換をしていただきたい。

##### 2 幼児教育の充実

園も小学校も教職員が子どもから離れることが難しい中で、全小学校で保育所(園)、幼稚園、小学校が連携の機会を持っている事は評価できる。また笠岡市版接続カリキュラムやアドバイザーによる訪問も、とても有意義なものであるので継続していただきたい。

##### 3 特別支援教育の充実

発達障害など特別な個性を持つ児童・生徒が、どの園や学校にも多数在籍する中で、支援員の充実が望まれるところである。予算的な厳しさや、人材の不足も承知しているが、報酬面の改善や幅広い募集のなかで、支援員の確保をお願いしたい。とりわけ、中学校では体力的な面からも、女性の力では難しい場面もあり、男性の配置が望まれるところではある。

#### 4 時代に即した学校教育の推進

これから先の社会情勢を考える時に、必要な教育は何かを、ここで一度立ち止まって熟考する時期ではないかと思う。ICTの活用は取り立てて言うことではなくなり、英語教育の推進も画期的な翻訳機の開発が進む中で、本当に時代に即しているのか、検討をお願いしたい。これからの社会の発展や教育の在り方について、様々な情報が錯綜する中で、笠岡市としては何を時代に即した教育と捉えるのか、全ての関係者の英知を結集して、方向性を決める時が迫っていると考えられる。

### ○豊かな心と健やかな体をもつ子どもの育成

#### 1 豊かな人間性を育む教育の充実

自己肯定感の獲得や、将来への目標達成の意欲などは、子どもが置かれている環境に大きく左右される。家庭や学校において、基盤となる生活欲求が充たされ、安心・安全が保障され、人との関わりの中で居場所を確保し、自尊感情が充たされた状況の中で、自己を実現しようという欲求が湧いてくるという考え方がある。厳しい家庭状況の児童生徒が多い地域の学校に勤務し、要保護や準要保護の発生率と、学力学習状況調査の結果が一致している状態を見てきた。その点も踏まえて、道徳の授業のみならず、職場体験や宿泊体験学習など、幅広い教育活動の中で、豊かな心の育成を図っていただきたい。

#### 2 健康教育の充実と食育の推進

栄養教諭や栄養士による学校訪問や、講話や試食会、学校給食展等を継続していただきたい。また、薬物乱用防止教室も継続していただきたい。

#### 3 学校体育・スポーツ活動の充実

笠岡市全体（学校・社会体育・民間）という大きい枠の中で、市民が年齢を超えてスポーツを楽しむ事ができるようになれば、子どもたちの体力向上や、豊かな心の育成にも大きな影響を与えることができるのではないかと。「17時から子どもから大人までが、あらゆる場所でスポーツを楽しむ街笠岡」を目指していただきたい。学校教育に全てを依存するのは難しくなっている。

### ○安心して学習できる教育環境づくり

#### 1 開かれた学校づくりの推進と学校教育体制の整備

オープンスクールについては、開催日数も減少して実際に行ってみても、年々訪問者の減少が見られる。手立てが必要と思われる。

学校運営協議会や学校評議員会は、会議時間や内容、委員の選定方法を工夫し、より一層充実したものにしていただきたい。

学校自己評価や学校関係者評価については、各校が積極的に公表しており、望ましい姿になっている。

学校支援地域本部事業については、支援者の確保とコーディネータの任命に苦慮していると思うが、子どもたちと地域の方が触れ合う絶好の機会でもあるので継続していただきたい。

#### 2 教職員の資質・能力の向上と研修体制の確立

笠岡市教育研究所の指定による研修会は、発表校の校長が転勤され、継続性に欠けていたのではなかったかと思う部分があった。

#### 3 安全教室・防災教育の推進

南海トラフ地震が実際に起きた場合は、地盤が低く水没の可能性がある校舎が、独自に子どもの安全を確保するのはかなりの困難を要する。笠岡市として、地域住民と一緒に防災訓練を早急に行う必要に迫られている。

#### 4 教育相談・支援体制の充実

学校に行かない子どもがいるのは避けられない状況の中で、受け皿としての教育相談室は建物自体に問題を抱えていると思う。明るい開かれた環境を持った場所は確保できないでしょうか。

いじめの発生件数については、積極的に認知しようという国や県の方針があり、数としては増えているが、その実態を的確に把握することが重要なので、今後ともしっかりと児童生徒に寄り添い、クラスや学年、あるいは学校だけが抱え込まず、関係諸機関との連携の中で解決していた

だきたい。

○人権教育の推進

1 教育・啓発活動の推進

実態として人権教育については、地域や学校で温度差があるように感じている。12月の人権週間における取り組みも、積極的に実施している学校もあるが、取り組みが不十分な学校もある。各校に配置されている人権担当者の研修をさらに充実させ、学校が中心となって地域を巻き込んだ啓発の推進に当たっていただきたい。

2 教職員の研修の充実

新たな取り組みを行う事は、とてもエネルギーが必要だが、マンネリ化を防ぐためにも積極的に進めていただきたい。その推進については、学校任せにすることなく、委員会からの積極的な指導・助言が入ることが有効と考える。

○学校施設等の整備

1 学校施設の耐震化事業の推進

2 学校施設の空調設備設置の推進

3 校舎等施設の整備と安全確保の推進

「割れ窓効果」が示すように、環境が児童生徒に及ぼす影響は、計り知れないものがあるので、より整備された環境の中で、教育が受けられるよう今後も努力していただきたい。

○生涯学習による人づくりまちづくり

1 生涯学習の推進

生涯学習フェスティバルについては、たくさんの団体の参加を得て、充実した取り組みとなっている。

2 社会教育関係団体の育成

それぞれの団体にとっては、規模が縮小する中で、予算の確保が困難になると思われるので、引き続き支援をしていただきたい。また、他市町の団体との交流も、有意義なので継続していただきたい。

3 公民館活動の推進

三世代交流など、子どもから高齢者までをつなぐ、地域の架け橋としての活躍が期待される。

4 図書館活動の推進

今後もこの取り組みを継続していただきたい。

○青少年の健全育成

1 家庭教育の充実

ニートや引きこもりなどについては、状況把握が困難な場合もあることが予想される。今後はその掘り起こしも進め、一人でも多くの市民が社会参加できるよう取り組んでいただきたい。

2 家庭・学校・地域社会の連携強化

明るい家庭づくりの作文や、青少年スピーチコンテストについては、学校の理解が得られなければ、充実が望めないと思われるので、学校への説明を丁寧に行い理解を得た上で進めていただきたい。

3 青少年団体の育成

笠岡子どもフェスティバルは沢山の参加者を得て充実している。

4 非行防止活動

中学校生徒指導連絡協議会において、警察や育成センターから補導の件数が極端に減少している状況を聞き、この状態を維持していきたいと感じている。

○人権教育・啓発の推進

1 教育・啓発活動の推進

人権文化祭が32回目を数えていることは誇るべき事で、人権感覚の醸成に大いに貢献している。これらも継続していただきたい。

2 人権教育推進組織の活性化

各委員会が計画的に実施されている。

3 指導者の養成

特にありません。

○芸術文化活動の普及・振興

- 1 芸術文化活動の振興及び交流  
特にありません。
  - 2 文化施設及び文化環境の整備  
今後も維持していただきたい。
  - 3 笠岡市文化・スポーツ振興財団との連携  
木山捷平文学選奨を中心に文化の振興が図られており、全国的な広がりを見せている事は評価できる。応募については、高校生や一般市民に一層の広報活動を行い、より多くの応募を獲得していただきたい。
- 文化財の保護・保存と継承
- 1 文化財の調査研究と啓発・活用  
カブトガニと繁殖地の保護を今後も進めていただきたい。
  - 2 文化財資料の収集・整理  
特にありません。
- 生涯スポーツの推進
- 1 各種スポーツ教室・大会の開催，地域スポーツ団体の支援・育成  
現在バラバラで行われている各種競技団体を，組織的に整理し民間の力を活用して，市全体として競技力の向上に努めていただきたい。
  - 2 スポーツ推進委員活動の充実  
スポーツ推進委員の確保について困難が予想されるがどういふ状況か把握できていない。
  - 3 スポーツ情報の提供  
市の広報で全国大会等に出場する選手が，写真付きで紹介されているのは本人や同じスポーツを楽しむ人にとって，とても良い刺激になっている。
- スポーツ・レクリエーションの施設の整備・充実と活用
- 1 施設整備及び充実  
今後も整備の充実を図っていただきたい。
  - 2 利用しやすい環境の整備  
多くの施設の老朽化が確認されているので，計画的にかつ早急に整備していただきたい。
- 競技スポーツの推進
- 1 各種スポーツ大会の開催  
笠岡市民大会においては，たくさんの競技が行われたが，参加人数は減少している。学校の部活動に加入せず，クラブチーム等で活動する子どもたちがいるので，クラブチームの参加を募ってみてはどうか。
  - 2 競技会等の支援  
継続して実施していただきたい。
  - 3 スポーツ指導者の養成，トレーナースタッフの確保  
指導技術のみならず，コーチングの基本を指導者が学べる機会をぜひ設けていただきたい。
  - 4 優秀選手の表彰  
ぜひ継続していただきたい。
  - 5 笠岡市文化・スポーツ振興財団，笠岡市体育協会等との連携  
小学生を対象とした各競技のスポーツ教室を，放課後に多くの小学校で行い，子どもたちが実際に体験し，自分がやりたい競技を選択する。次に前に述べた民間との協力による競技団体に行き，実際に競技を一定期間体験して，最終的に自分がやりたい競技を選択する。  
この他，底辺の拡大のために各種大会を笠岡に誘致し，子どもたちがレベルの高いプレーを直接見られるようにすることも有効だと考える。  
子どもたちの体力の向上や，地域の振興のためにも，スポーツが与える影響は大きいので，厳しい予算の中ではあるが，工夫してスポーツ人口の増加と，競技力の向上を推進していただきたい。



## 廣 井 滋 季 委 員

「平成 30 年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」に基づいた担当部署からの説明を受け、教育委員会で行われた点検・評価について一市民として評価委員会に参加した立場から、意見を述べさせていただきます。

### 1. 教育委員会の運営状況，教育委員会が管理・執行する事務について

定例の会議や年 3 回の市長との総合教育会議が開催され、笠岡市の教育課題に的確に対応されており、「就学前教育・保育施設の再編整備計画」の最終案が作成されたことは評価できます。来年度は、懸案の学校規模適正化実施に向けての修正案や、小中一貫教育の実施計画が早期に作成できることを期待いたします。

### 2. 《自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進》について

5 つの基本施策の下で多くの個別施策に取り組みされており、執行だけでなく点検・評価も適切になされていると考えます。

学校教育の推進は、各学校園が主体となって推進するのは当然ながら、教育委員会が各学校園の抱える課題に、迅速に的確なサポートができるよう取り組んでいただきたい。

また、教員が余裕を持って児童生徒に向き合えるよう、県教委や市長部局とも連携して、人的な確保に引き続き努めていただきたいと考えます。

### 3. 《心豊かな生きがいを育む生涯学習の推進》について

「学びが人を育てるまち笠岡」の実現を目指して、事業を推進・継続されていますが、基本施策の課題・方向性の中で事業内容にマンネリ化の傾向があると自己分析もされています。事業の継続・維持も重要ですが、目標の原点に戻って事業を根本から見直すことも必要だと考えます。時代や市民のニーズに合わせた、事業のスクラップアンドビルドも求められていると考えます。

### 4. 《創造性を育む文化の振興と文化財の保護・活動》

2 つの基本施策で自己評価を A とされていますが、評価通りの取組の成果が出ていると思います。

文化財の振興と文化財の保護・活用は、長いスパンで取り組んでいくことが重要と考えるので、しっかりした基本方針の下で継続して行っていただきたいと考えます。その意味からも、「笠岡市歴史文化基本構想」が策定できたことは、おおいに評価できます。

### 5. 《豊かな生涯スポーツの推進と競技レベルの向上》

より多くの市民がスポーツに親しむためには、利用しやすい機会・場所の提供と、それらの情報の提供が必要と考えます。施設の整備・充実だけでなく、あらゆる年代に届くような情報提供に取り組んでいただきたい。

競技レベルの向上には、継続した一貫性のある指導が必要と考えます。そのためには、いろいろな世代に場の提供ができる総合型スポーツクラブの支援・育成が必要となると考えます。

## IV 資料

## 平成30年度 教育関係決算総括表

## 歳入

(単位：千円)

款	30年度 決算額A	29年度 決算額B	比較	
			額(A-B)	率(%)
12 分担金及び負担金	3,982	3,980	2	0.1
13 使用料及び手数料	51,945	49,703	2,242	4.5
14 国庫支出金	41,731	255,803	△ 214,072	△ 83.7
15 県支出金	20,263	12,949	7,314	56.5
16 財産収入	315	234	81	34.6
17 寄附金	5,216	8,235	△ 3,019	△ 36.7
18 繰入金	71,384	75,608	△ 4,224	△ 5.6
20 諸収入	34,528	31,550	2,978	9.4
21 市債	214,700	1,395,500	△ 1,180,800	△ 84.6
一般財源	2,260,536	1,960,372	300,164	15.3
合計	2,704,600	3,565,901	△ 861,301	△ 24.2

## 歳出

(単位：千円)

款・項	30年度 決算額A	29年度 決算額B	比較	
			額(A-B)	率(%)
01 教育費・教育総務費	286,203	267,860	18,343	6.8
02 教育費・小学校費	508,266	441,530	66,736	15.1
03 教育費・中学校費	225,485	255,727	△ 30,242	△ 11.8
04 教育費・幼稚園費	261,024	239,077	21,947	9.2
05 教育費・社会教育費	930,461	549,926	380,535	69.2
06 教育費・保健体育費	485,979	1,811,781	△ 1,325,802	△ 73.2
04 災害復旧費・文教施設 災害復旧費	7,182	0	7,182	100.0
教育関係合計	2,704,600	3,565,901	△ 861,301	△ 24.2

◎ 小学校児童に係る経費の調べ

科目		25年度 決算額	26年度 決算額	27年度 決算額	28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	対前年比率	備考	
主な経費	児童報償費	決算(千円)	35	35	31	31	31	117	377.4	卒業記念
		1人当たり(円)	83	85	84	81	82	339	413.4	
	消耗品費	決算(千円)	24,753	22,859	40,814	27,621	24,609	30,157	122.5	
		1人当たり(円)	10,665	9,995	18,435	12,414	11,346	14,279	125.9	
	燃料費	決算(千円)	4,405	3,783	2,407	2,626	2,763	1,679	60.8	
		1人当たり(円)	1,898	1,654	1,087	1,180	1,274	795	62.4	
	光熱水費	決算(千円)	31,368	32,469	30,583	29,587	31,483	32,374	102.8	
		1人当たり(円)	13,515	14,197	13,813	13,298	14,515	15,329	105.6	
	修繕料	決算(千円)	14,090	12,957	12,719	11,867	10,654	13,392	125.7	
		1人当たり(円)	6,071	5,666	5,745	5,333	4,912	6,341	129.1	
	プール維持 管理費	決算(千円)	6,324	6,102	6,283	7,238	6,421	5,153	80.3	
		1人当たり(円)	2,725	2,668	2,838	3,253	2,960	2,440	82.4	
	校務員業務 委託料	決算(千円)	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	100.0	
		1人当たり(円)	1,163	1,181	1,220	1,213	1,245	1,278	102.7	
	図書購入費	決算(千円)	6,354	5,569	5,289	4,962	4,893	5,471	111.8	
		1人当たり(円)	2,738	2,435	2,389	2,230	2,256	2,590	114.8	
教材備品 購入費	決算(千円)	17,482	14,962	17,199	15,795	12,659	16,509	130.4	テレビ プロジェクター 実物投影機 パソコン	
	1人当たり(円)	7,532	6,542	7,768	7,099	5,836	7,817	133.9		
豊かな心を 育む総合推 進事業	決算(千円)	2,061	1,836	1,862	1,888	1,834	1,759	95.9		
	1人当たり(円)	888	803	841	849	846	833	98.5		
施設維持 改良工事費	決算(千円)	21,500	18,389	27,991	15,227	17,438	17,616	101.0		
	1人当たり(円)	9,263	8,041	12,643	6,844	8,040	8,341	103.7		
学校建設費	決算(千円)	345,323	326,175	213,327	194,277	150,901	180,348	119.5	空調設備実施設計・ 工事費	
	1人当たり(円)	148,782	142,621	96,354	87,316	69,572	85,392	122.7		
小学校費	合計(千円)	588,366	572,180	497,047	520,754	441,530	508,266	115.1		
	1人当たり(円)	253,497	250,188	224,502	234,047	203,564	240,656	118.2		

児童数(人)	2,321	2,287	2,214	2,225	2,169	2,112	97.4
6年生(人)	424	413	369	383	379	345	91.0

※ 児童数は5/1現在の人数。

◎ 中学校生徒に係る経費の調べ

科目		25年度 決算額	26年度 決算額	27年度 決算額	28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	対前年比率	備考	
主な経費	生徒報償費	決算(千円)	143	126	136	120	109	180	165.1	卒業記念
		1人当たり(円)	320	323	317	316	310	573	184.8	
	消耗品費	決算(千円)	12,353	12,999	13,272	19,563	13,265	13,330	100.5	
		1人当たり(円)	9,719	10,833	11,461	18,721	13,318	13,644	102.5	
	燃料費	決算(千円)	1,335	1,234	801	625	708	617	87.2	
		1人当たり(円)	1,050	1,028	692	598	711	632	88.9	
	光熱水費	決算(千円)	18,032	18,668	17,677	18,211	19,528	19,424	99.5	
		1人当たり(円)	14,187	15,557	15,265	17,427	19,606	19,881	101.4	
	修繕料	決算(千円)	7,796	8,418	6,267	5,770	6,706	7,234	107.9	
		1人当たり(円)	6,134	7,015	5,412	5,522	6,733	7,404	110.0	
	プール維持 管理費	決算(千円)	1,130	1,010	1,017	1,007	1,041	1,143	109.8	
		1人当たり(円)	889	842	878	964	1,045	1,170	112.0	
	校務員業務 委託料	決算(千円)	1,600	1,600	1,715	1,715	1,715	1,600	93.3	
		1人当たり(円)	1,259	1,333	1,481	1,641	1,722	1,638	95.1	
	図書購入費	決算(千円)	5,006	4,281	3,534	3,177	3,197	3,322	103.9	
		1人当たり(円)	3,939	3,568	3,052	3,040	3,210	3,400	105.9	
教材備品 購入費	決算(千円)	8,052	6,002	10,859	7,328	8,725	7,998	91.7	テレビ プロジェクター 実物投影機 パソコン	
	1人当たり(円)	6,335	5,002	9,377	7,012	8,760	8,186	93.5		
豊かな心を 育む総合推 進事業	決算(千円)	1,059	944	969	914	885	873	98.6		
	1人当たり(円)	833	787	837	875	889	894	100.6		
施設維持 改良工事費	決算(千円)	14,370	12,976	14,697	9,598	9,293	9,883	106.4		
	1人当たり(円)	11,306	10,813	12,692	9,185	9,330	10,116	108.4		
学校建設費	決算(千円)	175,202	68,153	152,654	143,586	55,792	20,336	36.5	耐震補強工事 空調設備設置工事	
	1人当たり(円)	137,846	56,794	131,826	137,403	56,016	20,815	37.2		
中学校費	合計(千円)	364,857	253,308	336,604	340,062	255,727	225,485	88.2		
	1人当たり(円)	287,063	211,090	290,677	325,418	256,754	230,793	89.9		

生徒数(人)	1,271	1,200	1,158	1,045	996	977	98.1
3年生(人)	447	390	429	380	352	314	89.2

※ 生徒数は5/1現在の人数。

## ◎ 幼稚園児童に係る経費の調べ

### 幼稚園配当予算

科 目		25年度 決算額	26年度 決算額	27年度 決算額	28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	対前年比率	説 明	
報償費	決算(千円)	0	0	0	0	0	0	—		
旅費	決算(千円)	305	216	248	215	191	284	148.7		
需用費	消耗品費	決算(千円)	1,782	2,142	1,944	1,773	1,787	1,908	106.8	教師用含む
		1人当たり(円)	6,253	8,176	7,967	8,324	8,935	10,314	115.4	
	燃料費	決算(千円)	899	798	512	361	361	180	49.9	
	食糧費	決算(千円)	10	9	9	9	9	10	111.1	
	印刷製本費	決算(千円)	64	74	62	37	47	48	127.0	
		1人当たり(円)	225	282	254	174	235	259	110.2	
	修繕料	決算(千円)	69	86	137	92	63	118	68.5	
小計	決算(千円)	2,824	3,109	2,664	2,272	2,267	2,549	99.8		
役務費	通信運搬費	決算(千円)	29	28	27	28	23	23	82.1	
		1人当たり(円)	102	107	111	131	115	124	107.8	
	手数料	決算(千円)	197	173	173	144	148	136	91.9	
小計	決算(千円)	226	201	200	172	171	159	93.0		
備品購入費 (図書購入費)	決算(千円)	494	987	978	920	1,017	1,088	107.0		
豊かな心を 育む総合推 進事業	決算(千円)	304	317	302	255	233	218	93.6		
	1人当たり(円)	1,067	1,210	1,238	1,197	1,165	1,178	101.1		
計	予算(千円)	4,153	4,830	4,392	3,834	3,879	4,013	103.5		
園児数(人)		285	262	244	213	200	185	92.5		

### 教育総務課関係

通信運搬費	決算(千円)	710	704	705	661	593	602	101.5	
光熱水費	決算(千円)	2,984	3,139	3,452	3,659	4,372	4,995	114.3	
校務員業務 委託料	決算(千円)	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	100.0	
修繕料	決算(千円)	1,979	1,889	1,818	1,697	1,944	1,769	91.0	
施設維持改 良工事費	決算(千円)	2,897	2,969	2,470	2,689	2,581	1,670	64.7	
図書購入費	決算(千円)	0	0	0	0	0	0	—	幼稚園配当へ
備品購入費	決算(千円)	1,934	1,415	1,678	1,568	2,897	2,722	94.0	
園建設費	決算(千円)	0	670	12,556	10,436	24,295	8,583	35.3	空調設備実施設 計・工事費
計	決算(千円)	11,604	11,886	23,779	21,810	37,782	21,441	56.8	

※ 園児数は5/1現在の人数。

# 平成30年度の主な事業

(単位：千円)

区分	事務・事業名	決算額	備考
教育費 2,697,418	スクールポート運営管理事業	14,173	高島と六島の児童・生徒の通学
	教育審議会の開催	310	小中一貫教育推進の検討
	療養補償事業	532	嘱託職員の公務災害補償
	外国語指導助手配置事業	43,286	生きた英語を親しみやすく児童生徒に伝えるため外国語指導助手(ALT)を小・中学校に9名配置
	教育活動支援事業	31,199	幼・小・中学校へ非常勤支援員48名を配置
	いじめ・不登校対策総合推進事業	12,741	不登校対策支援事業(11名配置) 巡回カウンセラー等配置事業(5名配置)教育相談室 いじめ対策支援員1名(学校教育課に配置)ほか
	英語教育推進モデル事業	3,660	小学校英語教科化に向け、タブレットPC、英語教育ソフトウェア、システム等を整備
	営繕関係	29,191	北川小・神島外中・横江幼トイレ様式化ほか
	小・中学校指導者用デジタル教科書整備事業	10,244	全小学校において、平成27年度改訂の国語、算数、理科、社会の教科書に準拠した指導者用デジタル教科書を整備 全中学校において、平成28年度改訂の国語、数学、理科、社会、英語の教科書に準拠した指導者用デジタル教科書を整備
	理科観察実験アシスタント配置事業	2,160	笠岡小・中央小・金浦小・城見小・大井小・吉田小・北川小・大島小・神内小に理科支援員3名を配置
	校務支援システム活用事業	9,918	児童生徒の出欠席、成績処理等が全小・中学校で運用となり、情報の共有化および校務の簡素化が図られた
	通学バス運行委託料	7,865	大島小、吉田小及び北木小の児童の通学
	校務員配置事業	5,400	幼・小・中学校の校務員業務(草刈・小修繕等)を委託
	図書整備事業	9,881	小学校(5,471)、中学校(3,322)、幼稚園(1,088)
	教材備品整備事業	19,574	小学校(13,277)、中学校(6,297)
	要保護及び準要保護児童生徒援助費補助事業	40,930	小学校学用品等7,209、中学校学用品等10,355 給食費23,366
	特別支援教育就学奨励事業	2,136	小学校学用品等346、中学校学用品等430、給食費1,360
	小学校における不登校対策実践研究事業	3,750	児童に対する登校支援や保護者等への相談支援 登校対策支援員5名配置(笠岡小・中央小・金浦小・大井小)
	授業改善・学力向上のためのデジタル教材等整備事業	1,957	フラッシュ型教材を整備し、運用。また、より効果的活用を図るために、主に若手教員を対象に研修会を開催
	小・中学校コンピュータ室等活用事業	30,696	小・中学校のコンピュータ室、特別教室、全普通教室のコンピュータ・ソフトウェア・その他周辺機器を活用 小・中学校をイントラネットで結び、教育ネットワークを活用
	放課後学習サポート事業	1,359	小学校4・5年生、中学校に、その日の授業に関連した補充学習等を非常勤講師や教員OB、地域の識者等を指導者とし、各学校の実態に応じて週1回、各1時間程度実施
	小学校「かさおかホリデーチャレンジ学習支援」事業	1,250	全17小学校区において、地域の指導者等を講師に、月1回程度、補充的・発展的な学習を実施
	中学校「かさおかサマーチャレンジ学習支援」事業	109	中学生を対象に夏季休業中、数学及び英語を中心とした家庭学習をサポートする場を提供
	中学校「いきいきチャレンジたいけん」事業	222	市内中学校の2年生が、学区内の事業所、施設等で職場体験活動やボランティア体験活動を実施 参加生徒数 332人
	ICT支援員配置事業	34,927	小・中学校等に学校ICT支援員6名を配置し、月2回技術支援・校務支援・授業支援等の様々なサポートを実施
	「CMで伝える地域自慢コンテンツ」開催事業	1,900	小・中学生が、地域自慢を目的としたCMをi-podを用いて作成 事前研修と中間発表会を行い、最後にコンテンツを実施 あわせて過去2年間の作品を合わせ、全作品の中からグランプリ作品を決定、表彰
	就学前教育推進プロジェクト事業	1,329	幼児教育アドバイザー2名を配置し、保育所(園)・幼稚園への指導や助言、接続カリキュラムの作成を実施
落ち着いた学級づくり支援事業	601	小学校5年生および中学校1年生を対象に、心理検査「ハイパーQ」を年2回実施	

# 平成30年度の主な事業

(単位：千円)

区 分	事務・事業名	決算額	備 考
	学校連携のための情報ツール整備事業	2,354	教育委員会事務局と学校との電子データ共有化をスムーズにするためにグループウェア「ミライム」を活用
	中学生学力向上に向けた検定チャレンジ	1,094	漢検・英検・数検の受検料を各1回補助することで、自主的・積極的に学習に取り組む力を身につけ、学習意欲の向上を図る
	小学校長長期宿泊体験活動推進事業	161	真鍋小学校の児童全員が、1月蒜山で1泊2日の宿泊研修を行った。その中で自然体験活動を通して岡山県の様々な地域の特徴について考え、故郷の良さを大切にしようとする心を養った。
	JAF心のプロジェクト「夢の教室」	437	「夢先生」を迎え、実体験に基づく話やゲームを通して、フェアプレー精神や協力することの大切さ、夢を持つことの素晴らしさなどを学ぶ。
	特別支援学級における児童生徒用タブレットパソコン整備事業	2,675	特別支援学級にタブレットパソコンや視覚的な支援の充実を図るために大型モニターを導入し、個別学習や支援を行った。
	井戸平左衛門賞	54	市内全中学校の2年生を対象に、勉学に励み、思いやりの心やたくましさを持ち、他の模範となる生徒14名を表彰。また、井戸平左衛門ゆかりの地である島根県大田市にて、地元中学生と交流活動を行った。
	部活動指導員配置事業	672	教員の勤務負担軽減と部活動の活性化を図るため、笠岡東中学校のバレー部と柔道部へ1名ずつ部活動指導員を配置した。
	ブロック塀安全対策事業	4,223	ブロック塀改修工事
	大島小学校整備事業	2,981	仮設教室設置に向け倉庫解体撤去工事、汚水放流施設設置工事
	学校施設空調設備設置実施設計事業	7,279	陶山小、北川小、新山小、吉田小、神内小、今井小
	幼稚園空調設備設置工事	4,480	今井幼、北木西幼
	園・学校施設空調設備設置実施設計事業	7,704	大井小、大島小、金浦小、城見小、今井幼、尾坂幼
	園・学校施設空調設備設置工事	7,805	真鍋中、白石中、北木中
	園・学校施設空調設備設置工事(H29繰越明許)	176,944	金浦小、城見小、大井小、大島小、尾坂幼
	大島中学校屋根改修工事	26,136	大島中学校①、③棟屋根改修工事(30年度の2カ年事業)
	大島中学校屋根改修工事	20,336	大島中学校②、④棟屋根改修工事
	北木中学校改修事業	3,024	屋内運動場・校舎棟スロープ設置工事、校舎棟スロープ屋根設置工事
	幼稚園就園奨励費補助事業	1,195	市立幼稚園保育料減免、私立幼稚園就園奨励費補助金
	施設型給付負担金	31,462	子ども・子育て支援新制度へ移行した私立幼稚園へ施設型給付費を交付
	幼稚園備品整備事業	1,123	園具・事務用備品の整備
	幼稚園一時預かり保育事業	4,139	富岡幼、横江幼、大井幼で一時的に教育時間外に保育実施
	生涯学習事業	1,595	生涯学習フェスティバル、諸学級事業、たくましい笠岡っ子スピーチコンテスト、「明るい家庭づくり」作文
	奨学金給与事業	1,503	藤井育英会(被交付者 高校生9人) 公益財団法人坂本音一育英会(被交付者 高校生7人、大学生2人)
	成人式	732	開催日 平成31年1月13日 開催場所 笠岡市民会館 参加者388人(市内331人、市外57人) 市内参加率67.8%
	貫閲講堂修繕事業	4,596	貫閲講堂の渡り廊下と舞台下手控室の補修工事を実施
	放課後子ども教室	1,785	市内10箇所において、地域住民の参画により子どもたちが放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験活動等を行う
	土曜日教育支援	603	市内9箇所において、地域住民の参画により子どもたちが土曜日等を安全・安心に過ごし、多様な体験活動等を行う
	地域学校協働本部事業	2,371	市内11地区(5中学校区、13小学校区)において、地域住民の参画により学校教育の支援活動を行う
	能・狂言体験学習事業	290	伝統文化であり、世界無形遺産に指定されている能・狂言に触れることで、関心や理解を深めるとともに、豊かな情操を育んだ(6校で実施)
	人権教育自立促進事業	581	教育上配慮を必要とする幼児・児童・生徒の自立を支援
	文化振興事業	1,092	名月観賞の夕べ、菊花展、文化祭、芸能祭、市写真展、さつき・新緑展、市美術展、児童生徒美術展(延べ来場者数 10,340人)

## 平成30年度の主な事業

(単位：千円)

区 分	事務・事業名	決算額	備 考
	木山捷平文学選奨	2,178	第14回木山捷平文学選奨
	文学者顕彰事業	526	森田思軒顕彰講演会 木山捷平没後50周年リレー講演会，読書感想画コンクール
	津雲貝塚調査事業	760	国史跡「津雲貝塚」保存のため，貝塚の範囲確認を目的とする自然科学分析などを実施
	日本遺産研究事業	8,840	歴史文化基本構想策定委員会，ワーキンググループ等を実施 歴史文化基本構想冊子の作成と記念シンポジウム開催 地域資源活用・観光活性化課講演会を開催 文化庁等協議，他自治体との連携協議，日本遺産認定申請
	関戸廃寺発掘調査事業	534	市道拡幅工事に先立つ発掘調査を実施
	教育相談事業	15,035	児童・生徒及びその保護者等に対して相談，助言及び援助を実施 相談員4名配置
	北木島宿泊研修事業	7,432	北木島宿泊研修所の管理運営を指定管理によって運営し，島ならではの宿泊体験学習を提供，3階研修室空調設備新設工事を実施 延べ利用者数1,618人（市内743人，市外875人）
	笠岡子どもフェスティバル	1,400	各種団体やサークルなどによる遊び，体験ブース，見学コーナー 学生や市民などがボランティアとして参加 開催日 平成30年4月29日 来場者数 4,900人
	青少年育成地区活動推進事業	862	各地区において青少年健全育成に取り組む団体に対し補助金を交付し，活動を支援 市内各地区青少協11団体
	公民館活動助成事業	6,000	地区公民館20館 108事業
	公民館施設整備事業	13,011	空調設置（飛鳥，北木西），トイレ改修（大井，神島外） カラー複合機（陶山，大井），冷蔵庫（今井，飛鳥） ガス給湯器（神島外），プロジェクター（今井），マイク（中央）
	市民会館運営事業	33,883	一般財団法人笠岡市総合福祉事業団吸江社へ管理運営を委託
	市民会館施設長寿命化事業	15,745	ホール音響設備改修
	図書館運営事業	88,133	笠岡市立図書館40周年記念事業，子ども司書養成講座 ブックスタート事業，図書館サービス充実事業，休憩室の新設，施設整備 図書館キャラクター「きやにゃ・もりし」誕生 ほか 来館者数99,441人 貸出冊数276,762冊 蔵書数182,953冊（一般書121,995冊，児童書60,958冊）
	カプトガニ博物館運営事業	451,310	カプトガニ保護対策事業，大量飼育事業，特別展，敷地購入，施設改修工事 敷地購入（大殿洲） 来館者数62,846人 特別展示「石になった魚たち～The World of Fossil Fishies～」展 特別陳列「きみはエビ派？カニ派？エビ・カニ展」 魚類骨格レプリカ購入 恐竜修繕・公園内整備工事・鯰展示コーナー更新工事など
	郷土館運営事業	2,416	年間入館者数451人
	竹喬美術館運営事業	73,654	竹喬美術館展覧会事業 来館者数14,842人 特別陳列「都路華香ー装飾表現の現代化ー」 特別陳列「竹喬愛蔵コレクションー鉄斎を中心にー」 特別陳列「竹喬ー落款（サイン）と印章をさぐるー」 特別陳列「海・山・川 日本画が求める自然」 特別展「創立100周年記念 国画創作協会の全貌展」 特別展「幽玄なる世界ー吉野石膏日本画コレクション」 特別展「幸野楳嶺が伝えたこと」 特別陳列「蠢動 竹喬のまなざし」
	真鍋島ふるさとふれあいセンター運営事業	1,796	交流学习・文化活動等を行う場を提供 男子トイレ改修工事
	笠岡諸島開発総合センター運営事業	2,554	交流学习・文化活動等を行う場を提供



## 平成30年度の主な事業

(単位：千円)

区 分	事務・事業名	決算額	備 考
	スポーツライフ推進事業	2,482	スポーツ教室, ニューススポーツ大会, スポーツ推進委員派遣
	スポーツ振興事業	7,245	べいふぁーむ笠岡マラソン, カブトガニ駅伝等
	ファミリーウォーキング大会	300	ミズノオープンのプレイイベントとして開催されるファミリーウォーキング大会の運営を支援
	体育施設管理事業	27,630	体育施設管理運営委託料 施設予約管理システム運用委託料
	大井グラウンドブロック塀改修工事	314	耐震基準を満たしていないブロック塀の改修工事を実施
	大井グラウンド門扉修繕	77	老朽化した門扉を修繕
	海洋センター管理運営事業	10,709	島しょ部のスポーツ・レクリエーション施設として管理運営
	B&G海洋センター時計台撤去工事	92	倒壊の恐れがあった時計台を撤去
	B&G海洋センタープールポンプ取替工事	384	故障したポンプの取替工事を実施
	総合スポーツ公園体育施設管理運営事業	45,304	笠岡総合体育館, 笠岡陸上競技場, 多目的広場の管理運営
	総合体育館メインアリーナ照明改修工事	22,564	メインアリーナの照明をLED化
	総合体育館メイン・サブアリーナ床改修工事	9,072	メイン・サブアリーナの床を改修
	学校給食事業	309,785	小学校17校, 中学校10校 (小北中含む)

